

圍碁妙傳

士

79
4075
1



門 79
號 4075
嘉

嘉永五月初春新鵲

井上因碩宗匠著

圍碁妙傳

浪華 竹雨亭藏梓

淡路橋本氏
遺贈圖書
五三男

41 12509

序



藝之奇者多稱於人而人之奇者
或不容於世江都幻菴井上公翁奇
人也非以藝稱者也自知不容於世不
得已以其所蘊畜一寓諸碁是其技
之所以與他人異撰也余嘗論奇之與

抄傳序

正如陰陽晝夜之不相離然若夫奇
而離正者非恠則妄矣孫子曰奇正
相生如循環之無端翁豈有得於此
歟翁之先考嘗死於我浪華今年
翁之來遊適會其忌辰祭之日適余而
使善歌者唱所謂淨瑠璃謠法然下淚
曰先考無他嗜好唯喜聽淨瑠璃故
奏一曲以抒遐慕之念耳請勿恠也余
曰翁之所為不亦太奇矣乎而其出於
孝思則不可謂不正也是可以品翁之
慕矣翁笑而頷之乃出示其所著慕
訣一部曰請以此語弁卷之首遂書

以與之

嘉永四年（辛亥）冬十月

浪華 竹陰主人 波崎柴撰并書



船工 大島 榮次郎

學素練兵想概

余、もも、の、心、な、う、二、六、歳、の、秋、も、り、不、意、川、く、じ、伎、庵、と、先、（此、
は、う、が、ま、う、り、武、門、は、ま、ま、た、ん、か、く、文、武、と、ま、ひ、て、我、も、ま、ま、
の、志、や、し、可、あ、れ、）
義、の、教、命、黙、し、て、二、十、二、の、歳、井、上、郎、の、
養、子、と、な、り、し、つ、ば、山、と、い、は、れ、し、也、
公、福、は、余、を、て、ま、う、つ、と、も、思、怖、な、う、い、は、れ、し、也、
多、回、我、黨、と、言、ふ、も、ろ、く、二、務、し、ゆ、め、の、ち、今、く、言、は、の、一、助、
を、し、な、れ、し、也、
し、ゆ、め、ら、く、れ、し、も、な、ら、ば、を、と、押、し、ゆ、し、

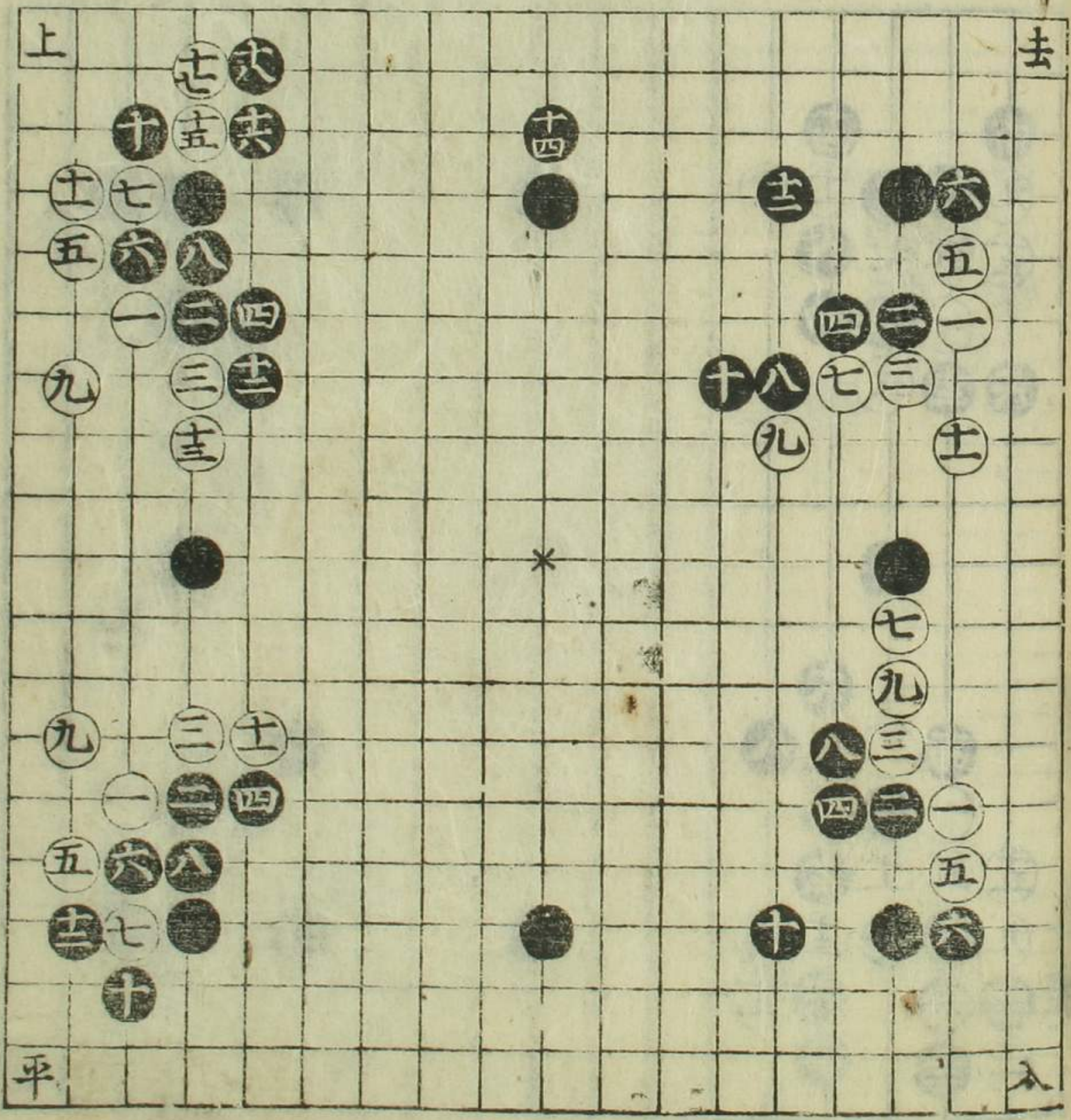
大傳也

○每局二思を加ふを家よきくふばを放^{はな}んと^まじり
 時又七言の二句よりと沈吟しそて見^みる^るを^あひ^あは^はす
 トヤと思^{おも}ふ^ふて^てを^を表^{あらわ}す^すより^{より}入^いる^る各^各眼^眼と大^大見^見
 かり小^小く^くら^らき^き見^見ゆ^ゆる^る可^可き^きや^やあ^あひ^ひな^なか^かの^のそ^そく^く運^運
 考^考ふ^ふ一^一大^大の^のあ^あら^らか^かき^き若^若き^きハ^ハな^なり^り也^也急^急に^に
 名^名ふ^ふよ^よく^くと^と河^河の^のと^とま^まり^り亦^亦試^試ん^んと^とま^まふ^ふハ^ハ難^難ひ^ひ
 うつ^{うつ}へ^へん

○本達より末年十月の後よりと一月の先とをま

一各地より圍むを鎮内の兵糧と運送せり不^不均^均し^しぬ^ぬ
 取^取り^りて^て款^款は^はと^と破^破り^りく^く昔^昔は^はを^を信^信ん^んと^とま^まハ^ハな^なり^り孫^孫を^を可^可得^得
 食^食款^款一^一鐘^鐘當^當各^各二十^{二十}鐘^鐘則^則是^是也^也

八子ト制目ノ立ハ同断
 六子七子モ全断極テ
 真中ノ置石ニ附テ別
 ニ打方ハナキト可知
 二ノ附ハ秋山仙朴之
 新工夫尤吉併悪キ
 手ノヨキ手ト評セシ
 ハ不可也至テヨキ手
 ト可心得
 平上去入ヲ記シテ
 四隅ヲ別ツ後是ニ
 倣フ



少傳 卷二

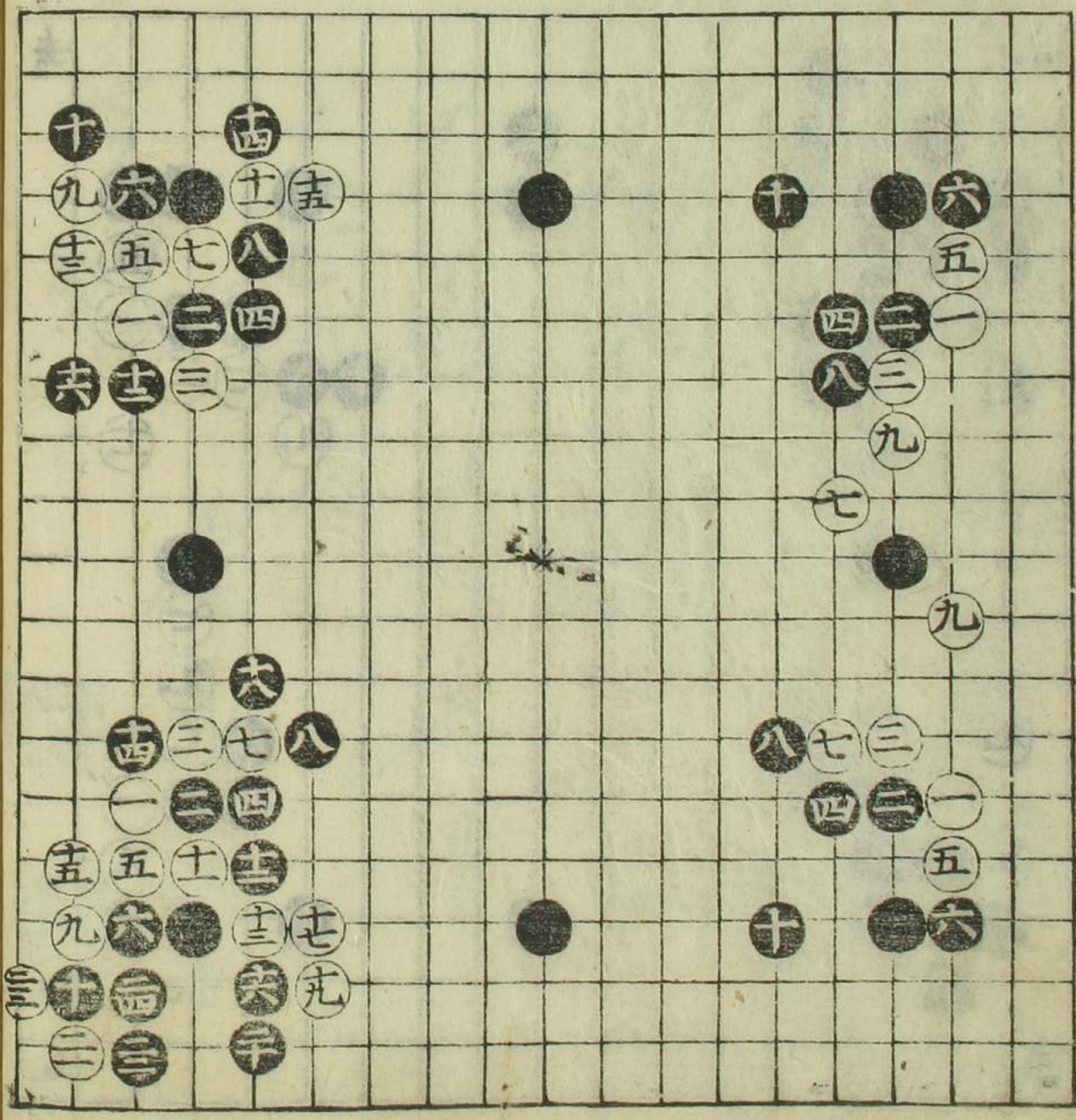
和永年庚秋

碩改 指卦謾書



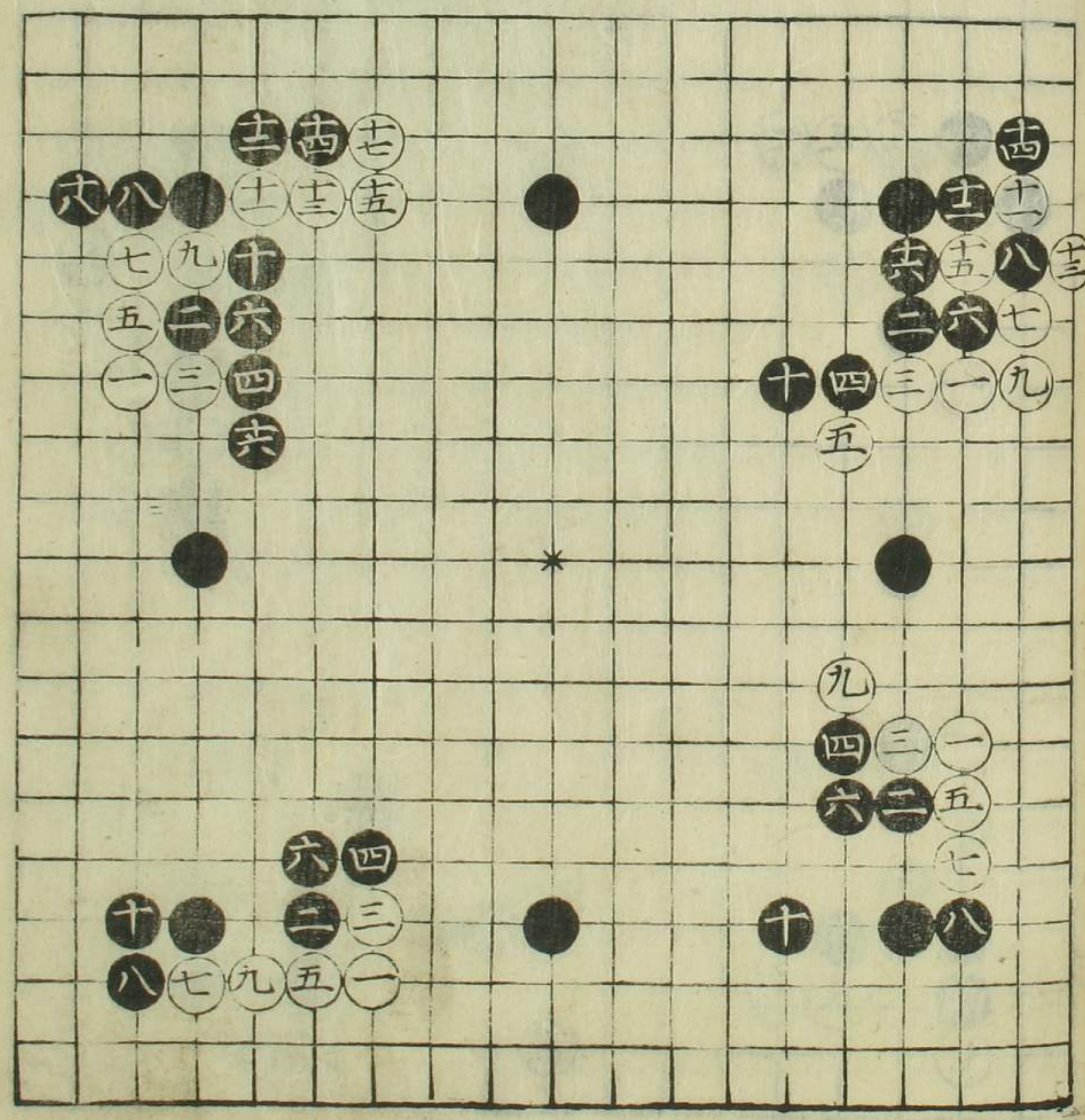
圍碁須解 局上無石 澤庵和為
 示者云 鞍上無人
 韃下无馬 是謂也
 十一世周碩改

平上凡白大ニ無理
ナレ凡至テ初進ノ人
ニ受方ヲ記スノミ

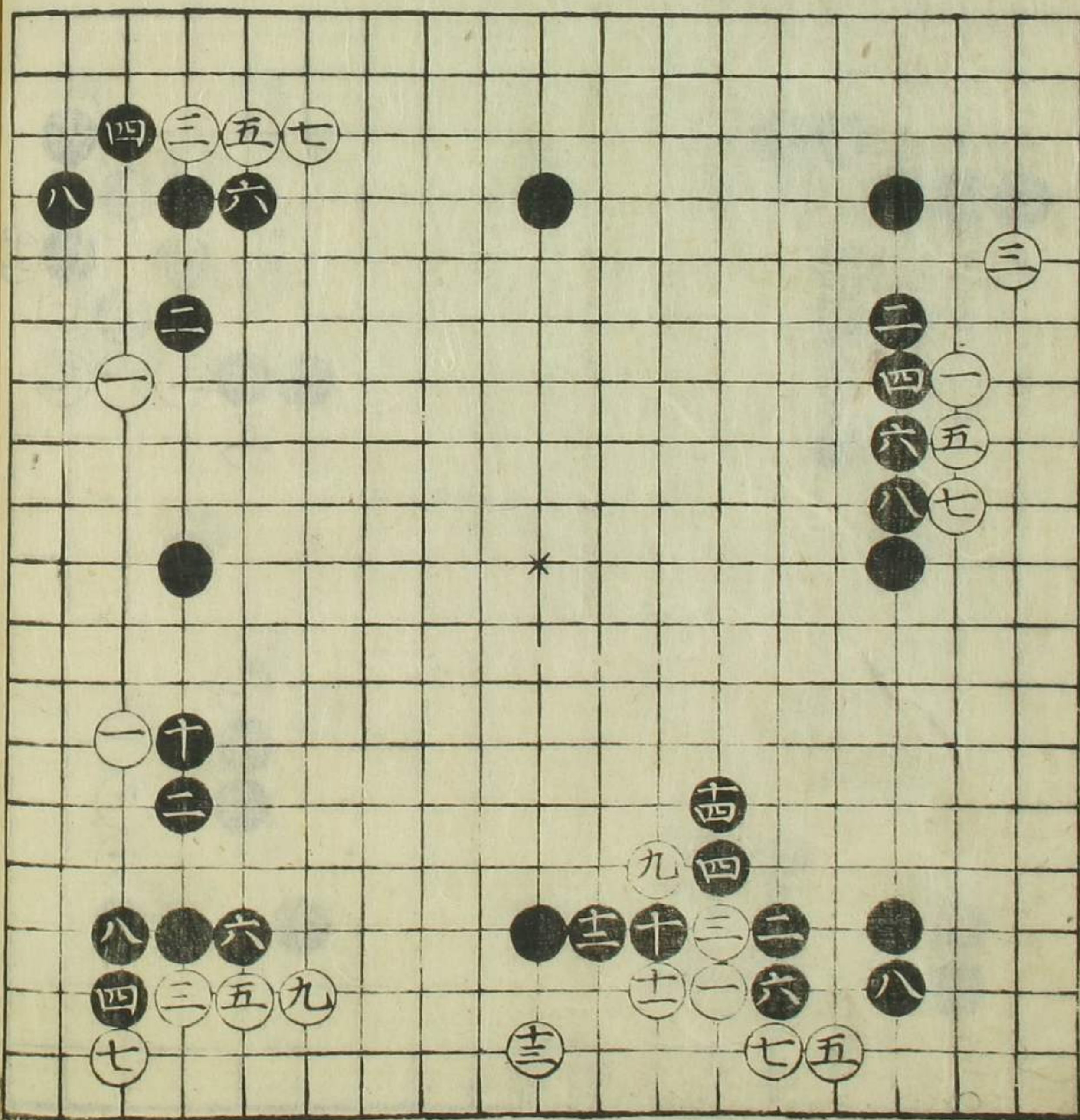
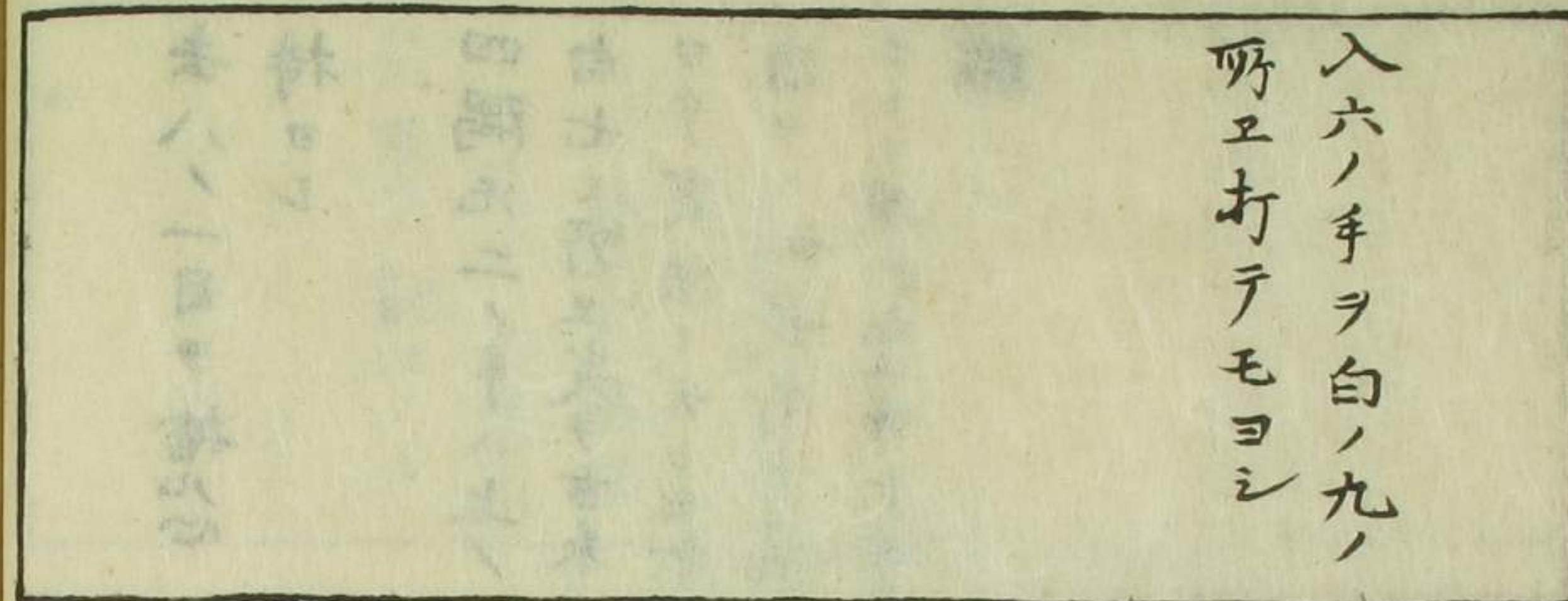


去八ノ一目ヲ捨ル心
持ヨシ

四隅凡二ノ手ハ上ノ
白七ノ所エ尖ヲ古来
ヨリ定法ト云トモ余
惟フニ如是打方一隅
コトニ早夕片付テ可
然

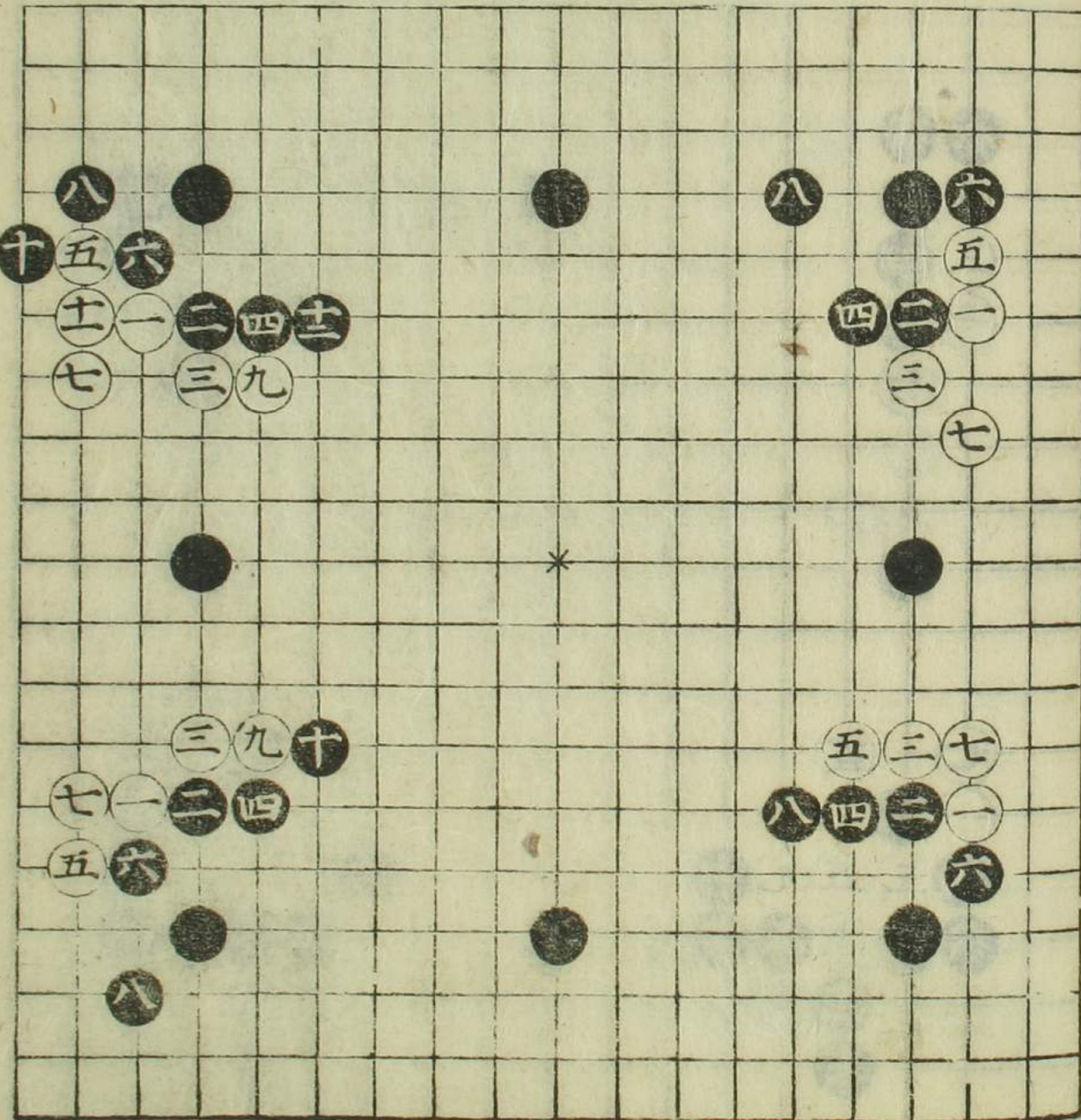
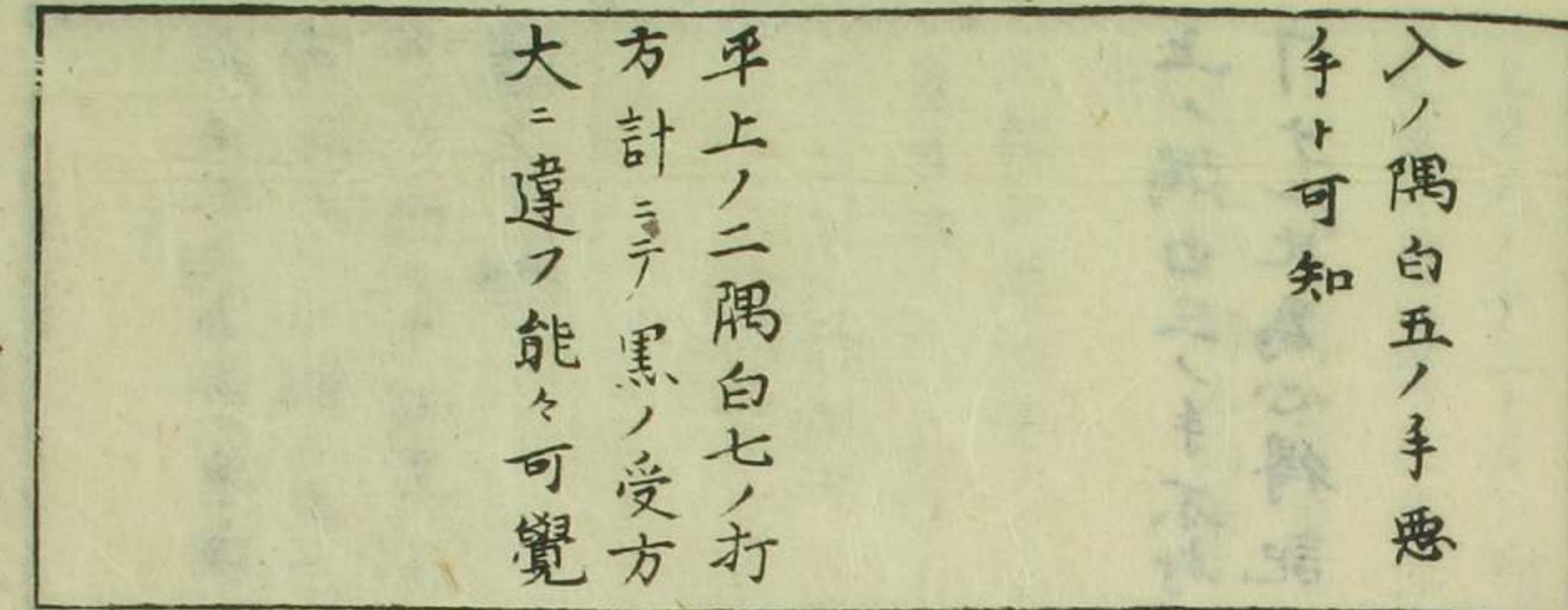


入六ノ手ヲ白ノ九ノ
所五打テモヨシ



入ノ隅白五ノ手悪
手ト可知

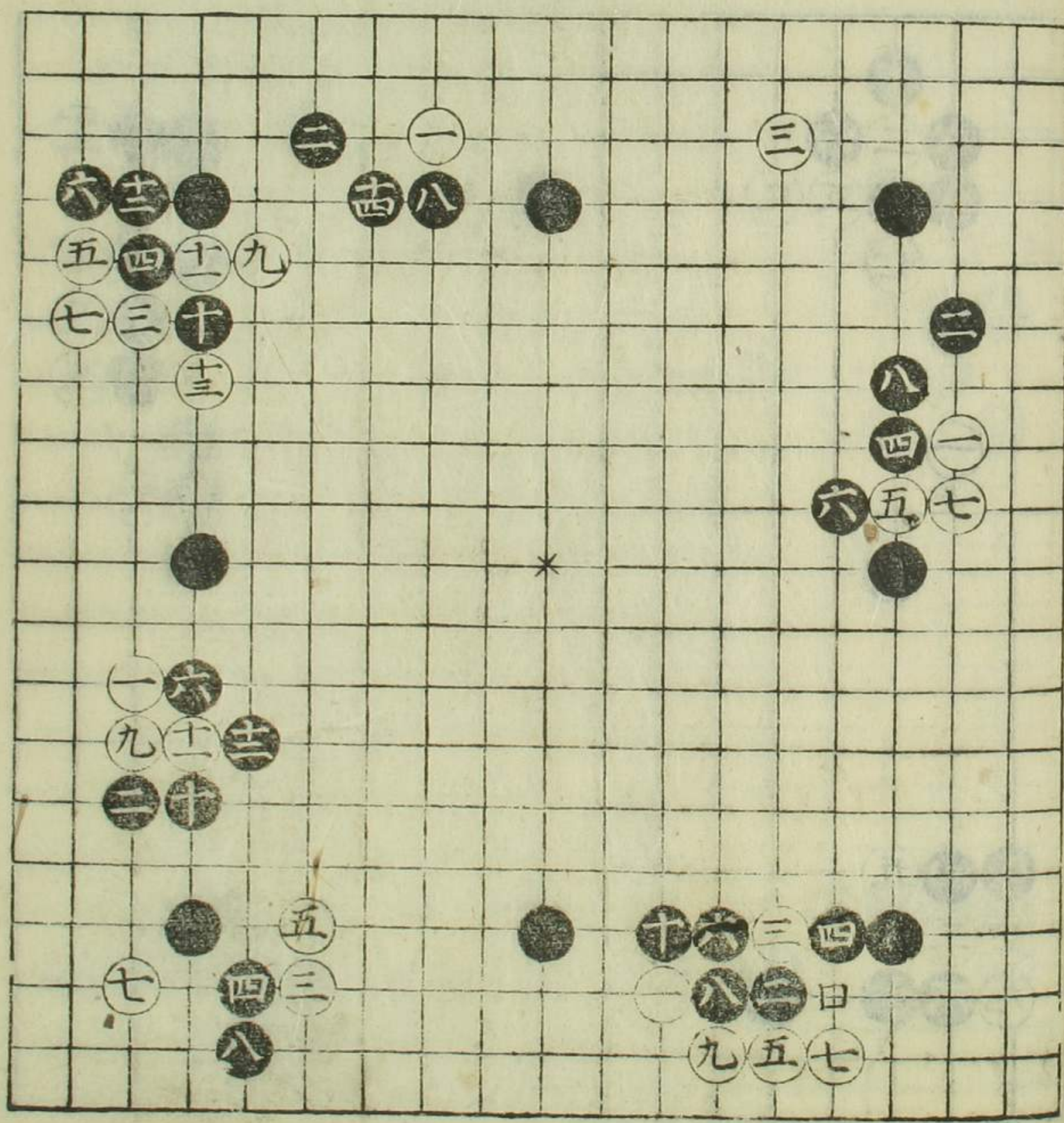
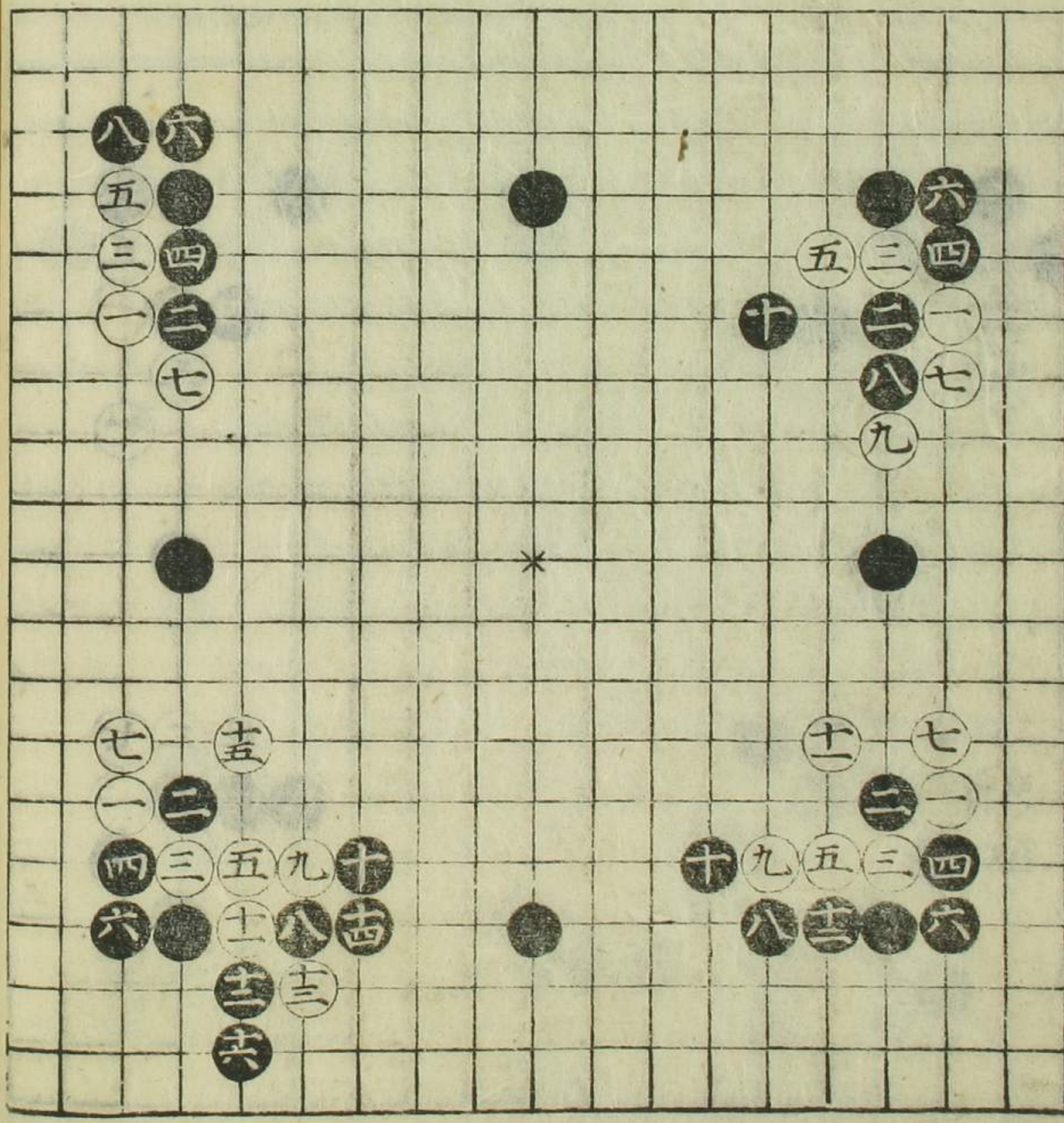
平上ノ二隅白七ノ打
方計ニテ黒ノ受方
大ニ違フ能々可覺



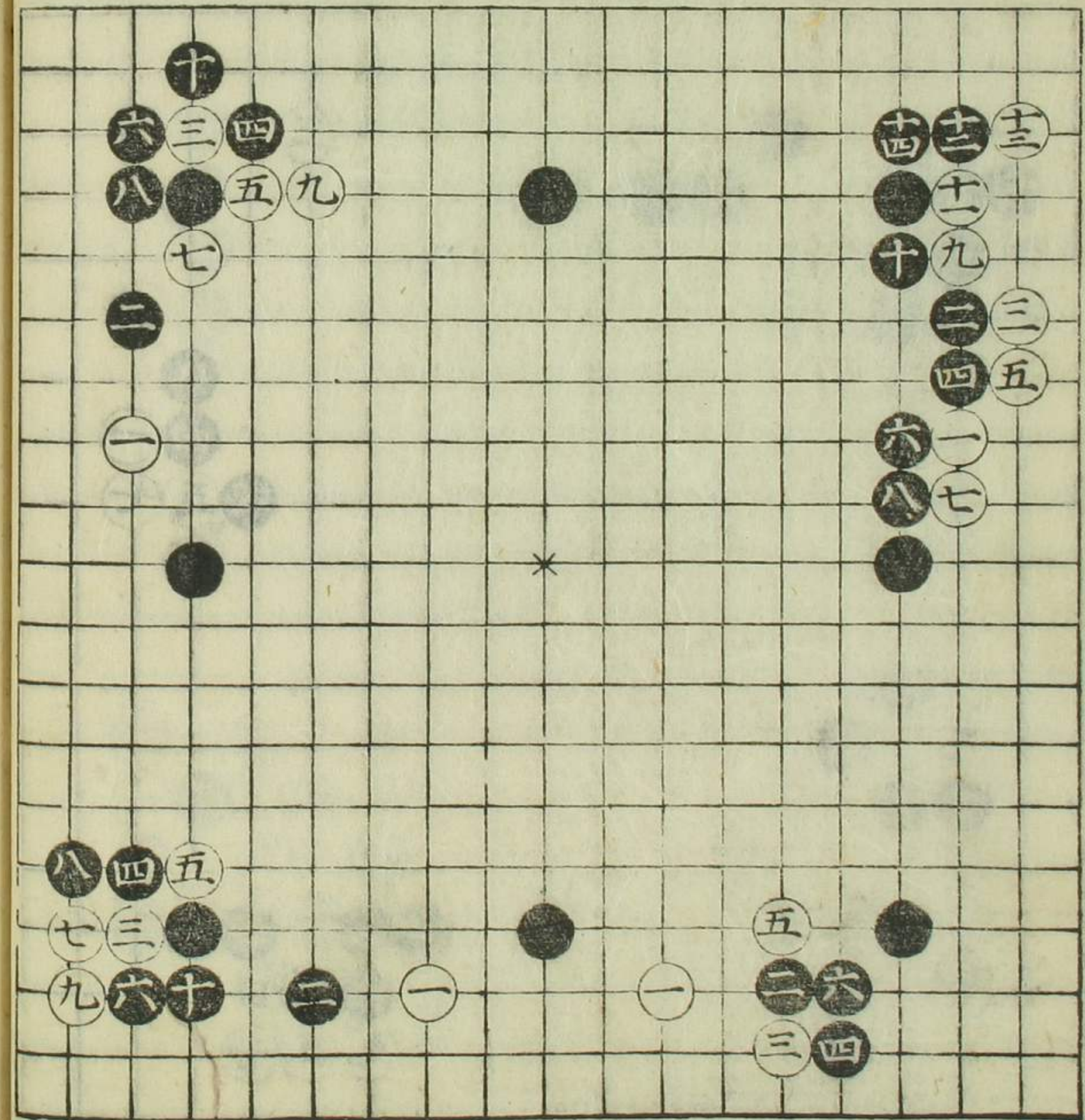
平去入凡白三ノ手無
理也夕トヒ征ノ中リ
ナキ時ニテモ黒ノ方
徳ト可知

上ノ隅白三ノ手不打
ナレ凡為心得記

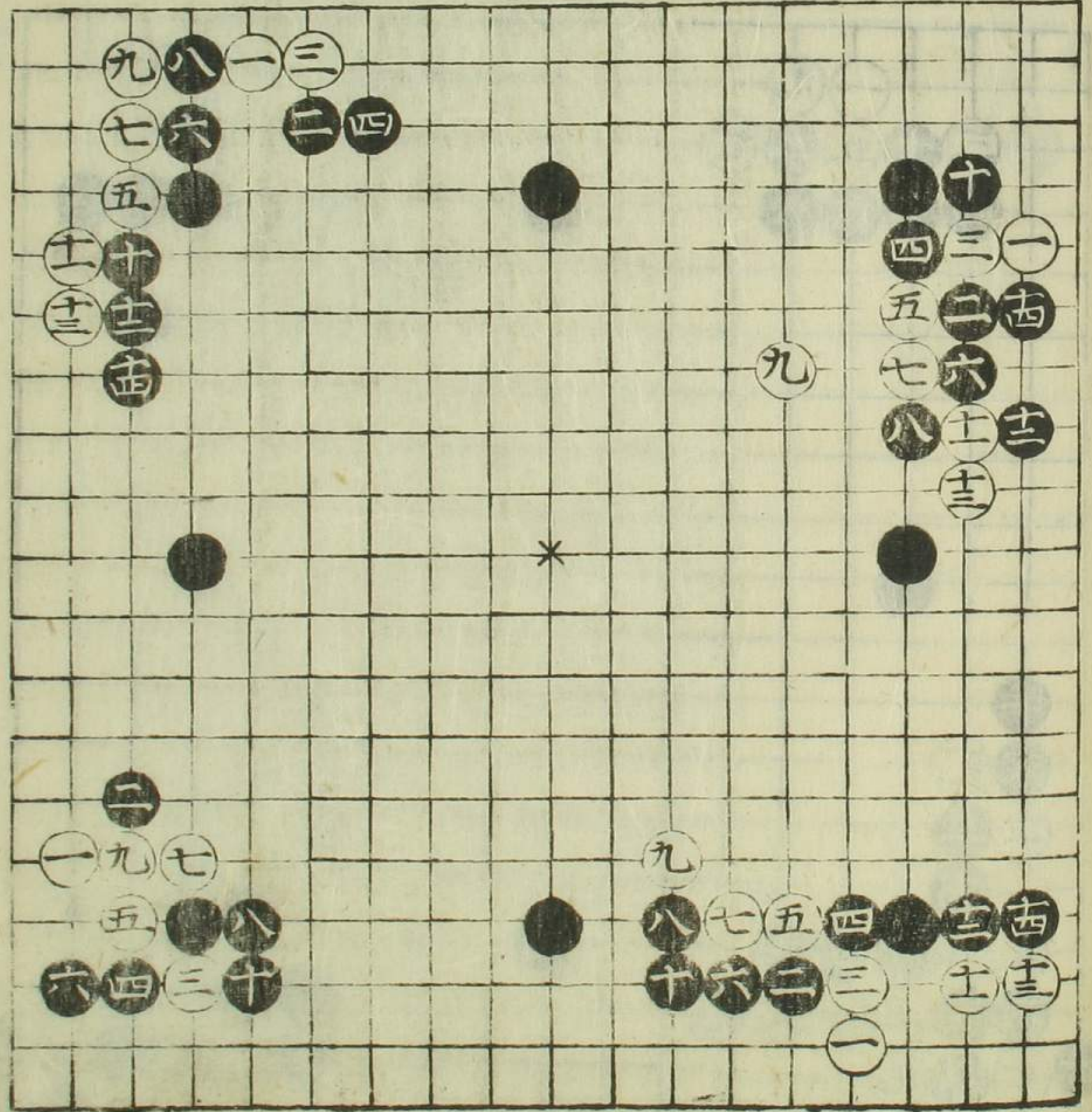
上黒六ノ手ニ石小斜
起故ヨシ大斜走以上
ナレバ十ノ所工打白七
ノ所工粘時△印工可
尖
入雖如何初進ノ人ハ
免角四ノ手ヲ口印工
引タガル故記之



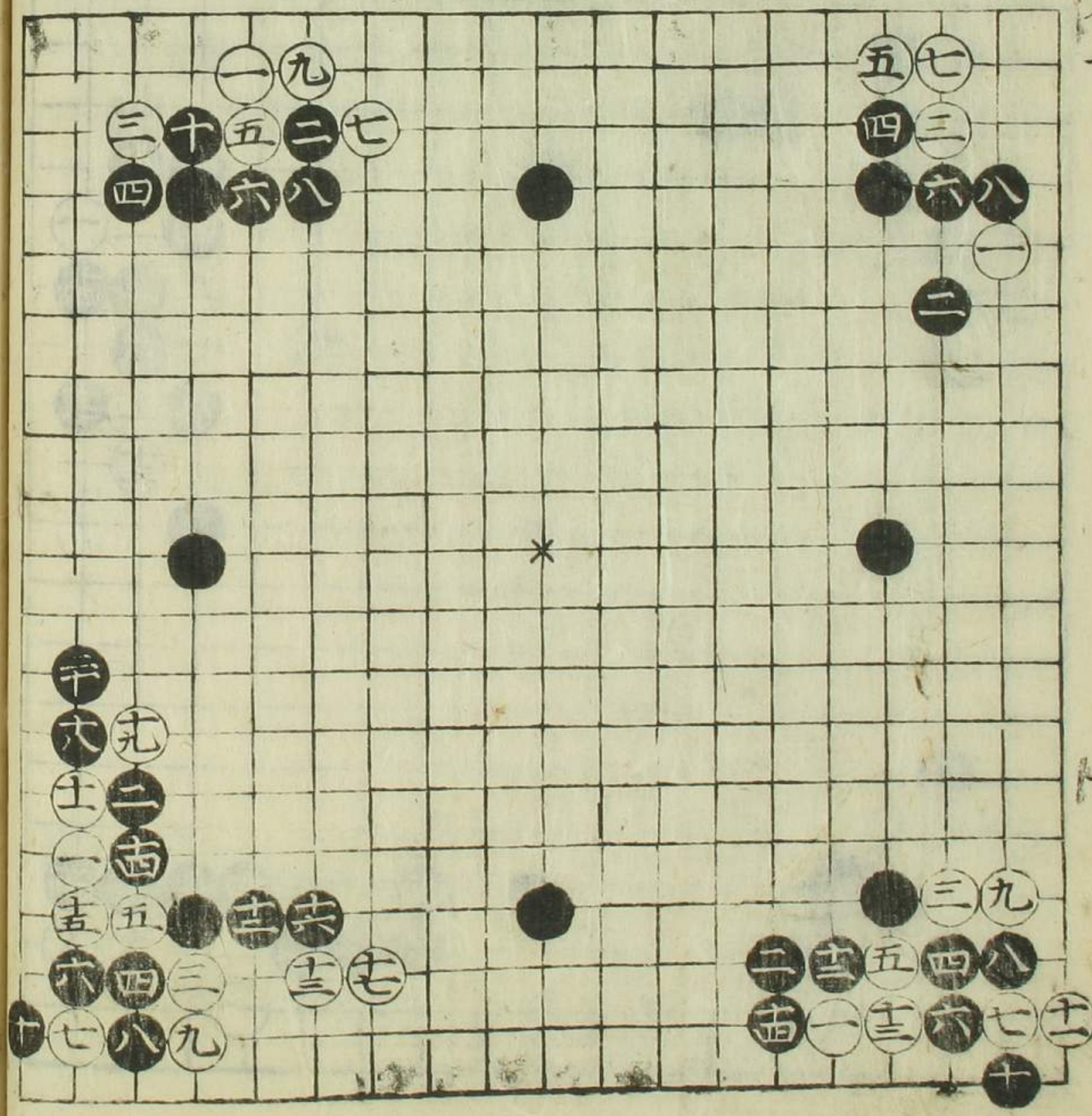
平上共白大ニ無理ナリ
去入ノ両隅ハ子モ置テハ去ノ方ニシト心得テ可然無紛一續ラ置碁之勇一トスル故也



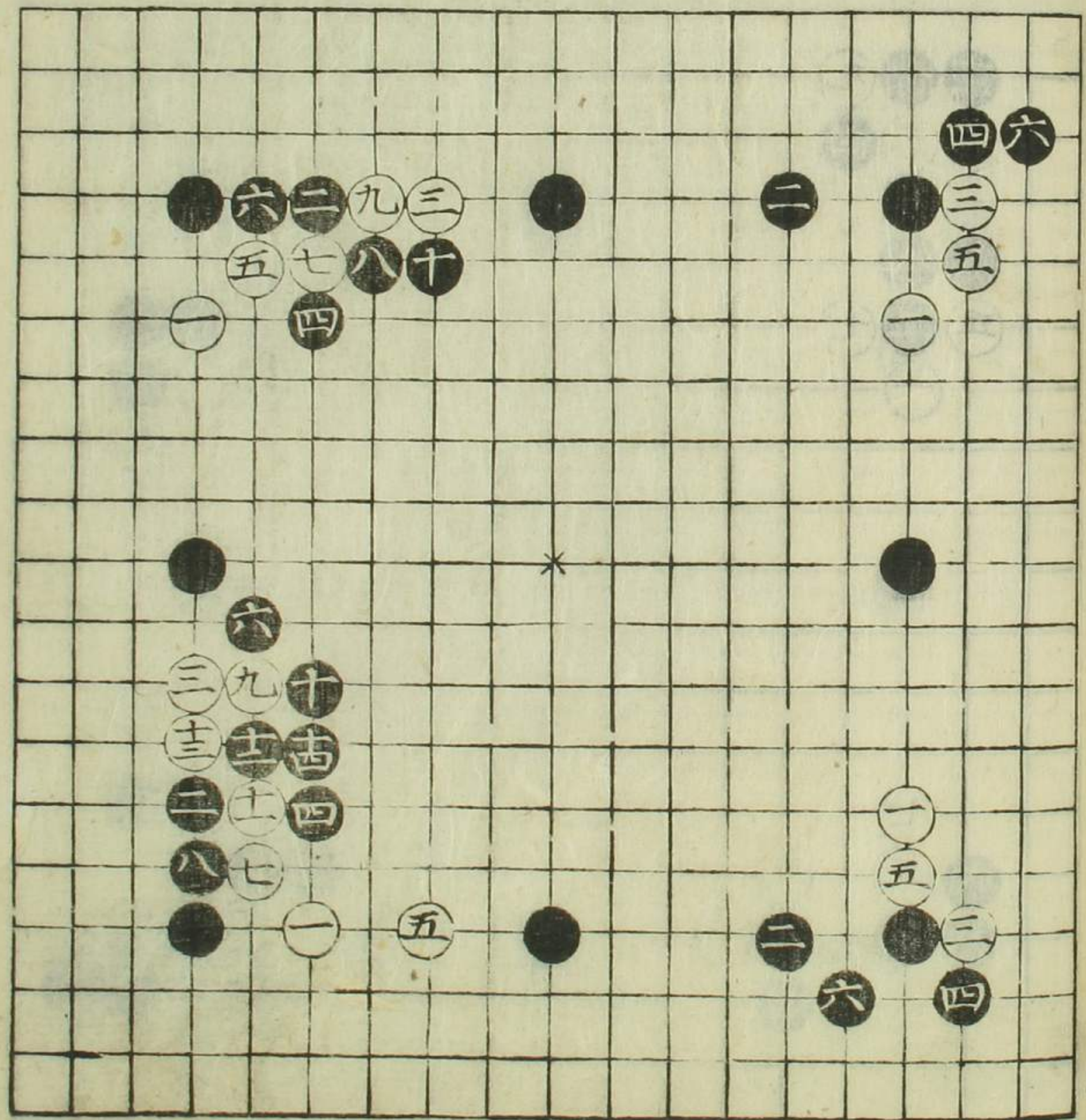
四隅凡白ノ一ノ手打サレテナレ凡為初心記ノミ



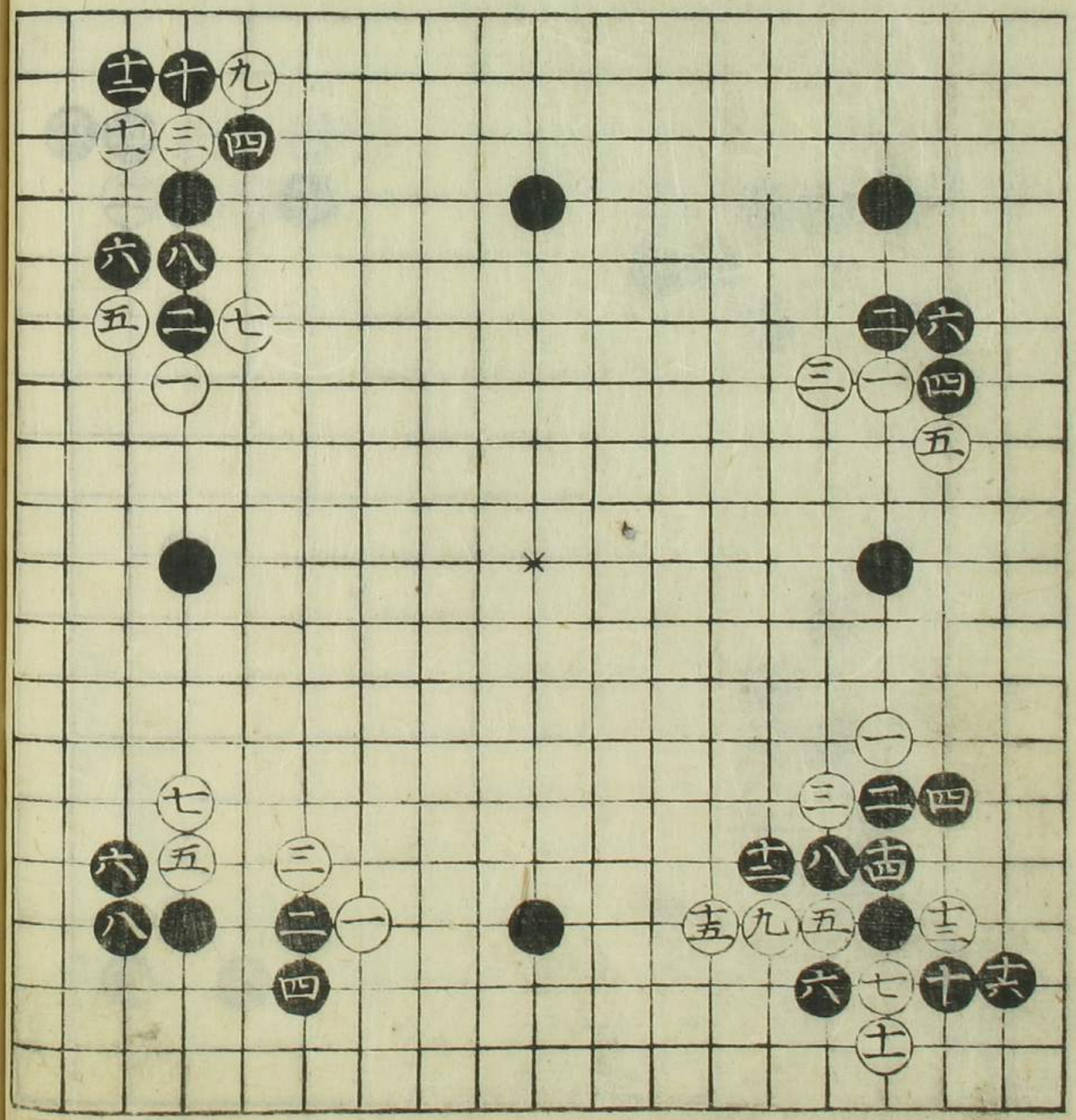
前評全新



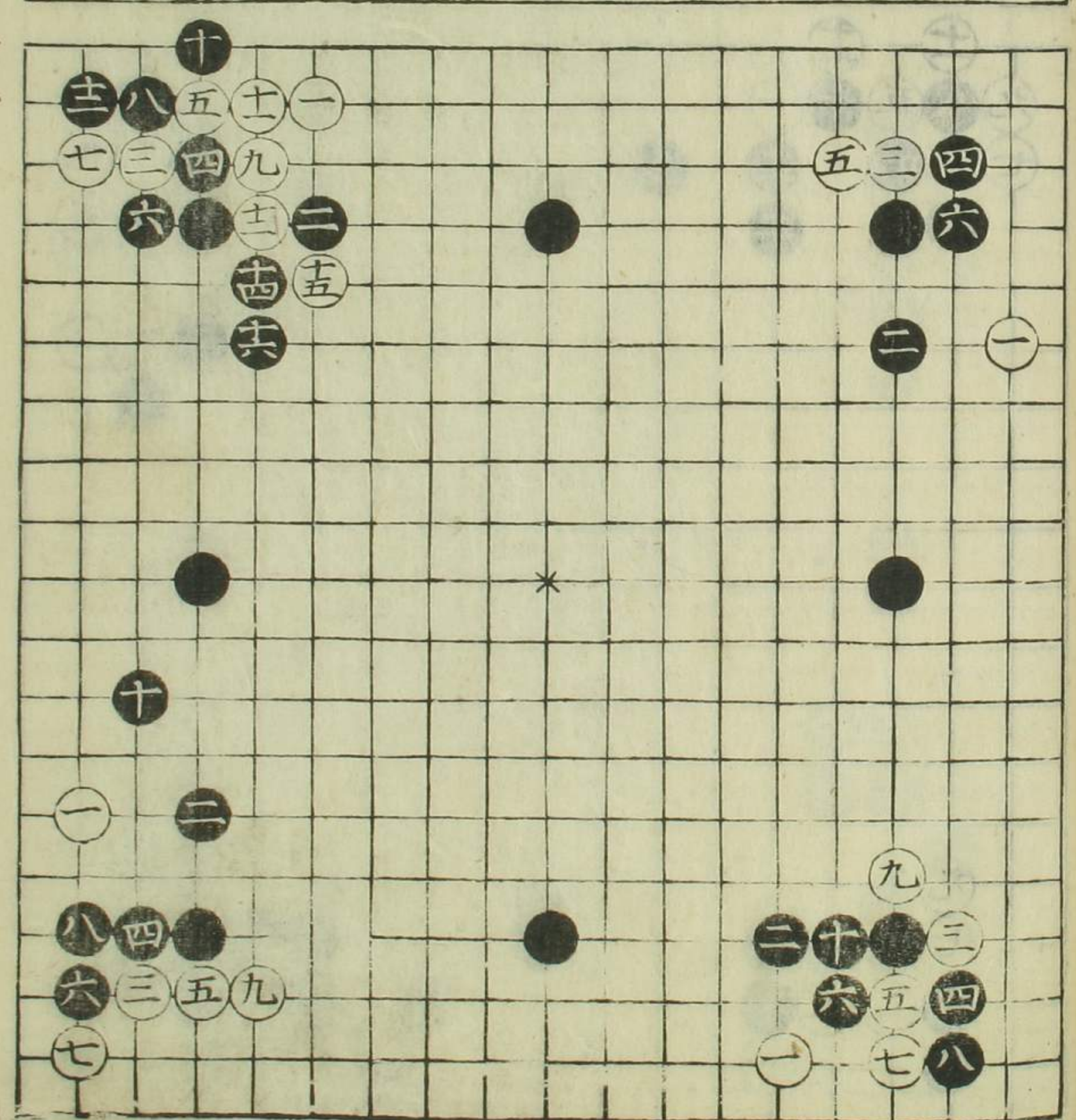
白一ト四ノ筋工高ク
 打來ル時ハ黒モ如
 此四ノ筋工高ク受
 へ之照部因淑新
 工夫也至テヨシ



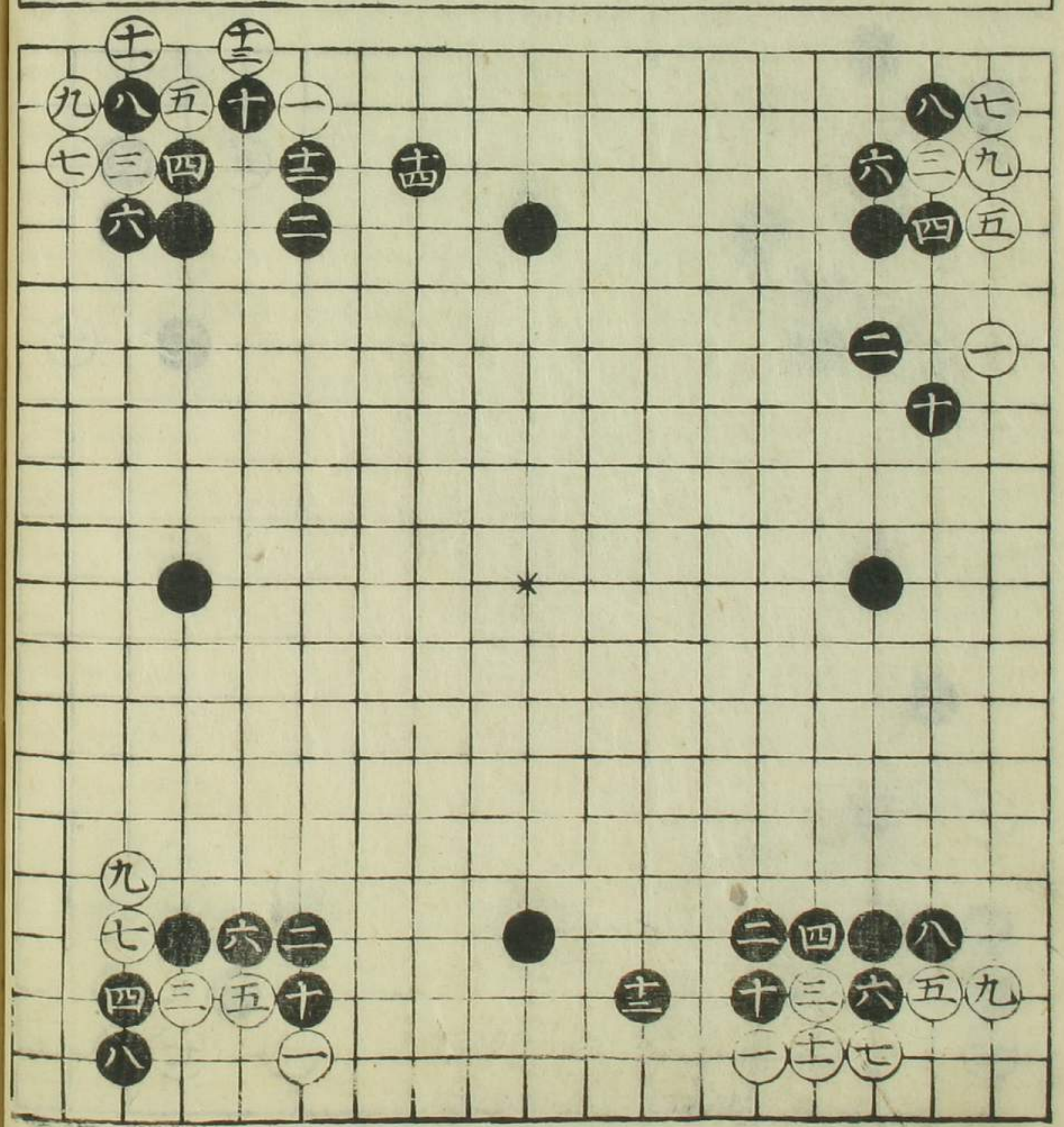
黒二ノ受方因淑新
工夫尤ヨシ但之上隅
六ノ所エ尖モ不苦
平隅二ノ手ヲ七ノ
所エ飛モ不悪



白一ノ手ハ絶テ不
奇莫ナレモ為心得
記スノミ
上十ノ手此形ヲハ
不打方ヨシト可知



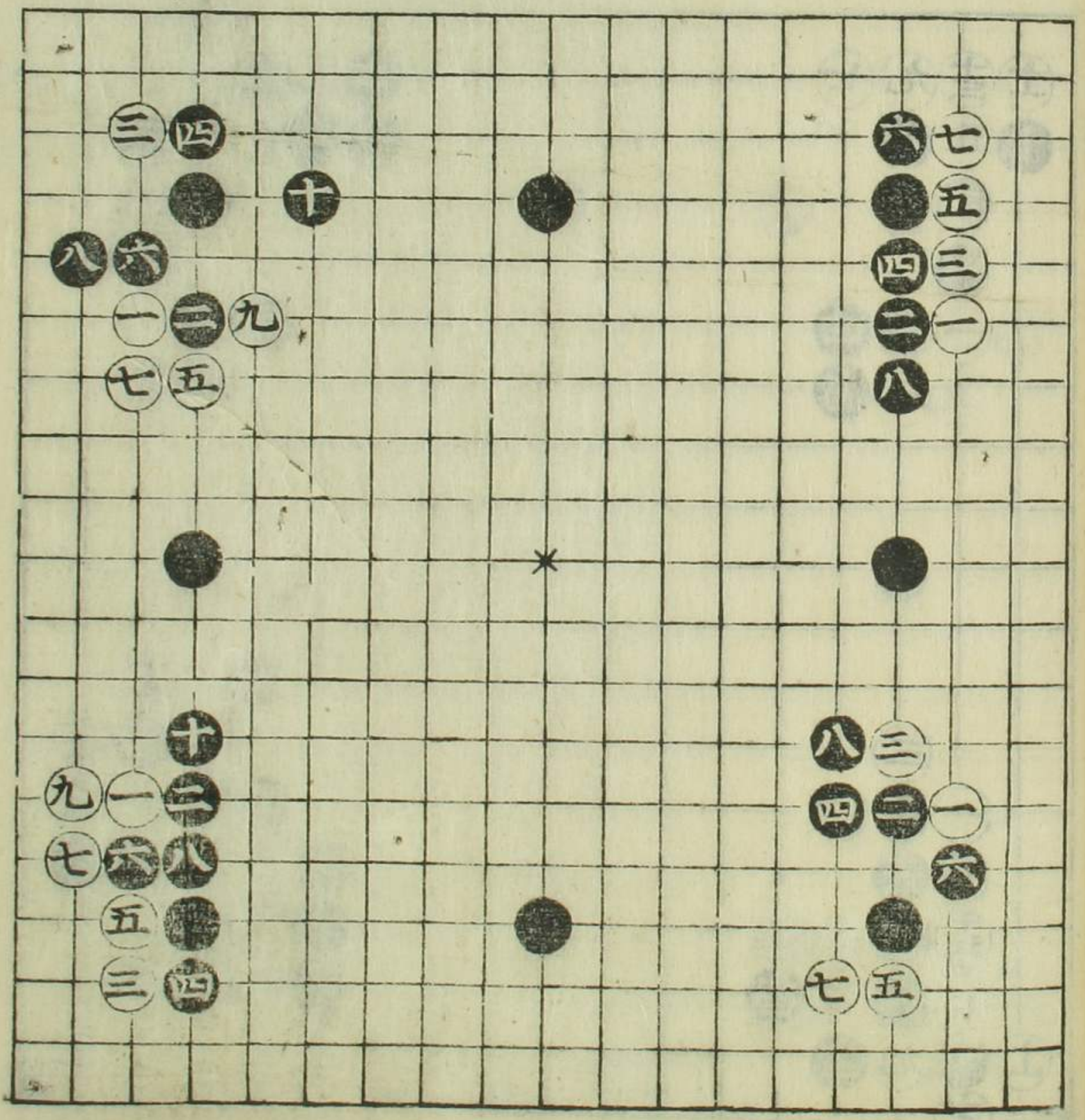
二十ノ手ヲ十三ノ処エ打テモヨシ
平白無法
去十ノ手外ヲ打方ヨシト可知



入ノ隅白五ノ手十一世
因碩十二歳ノ時下手
コマラセノ新工夫黒
如此打ハ無紛

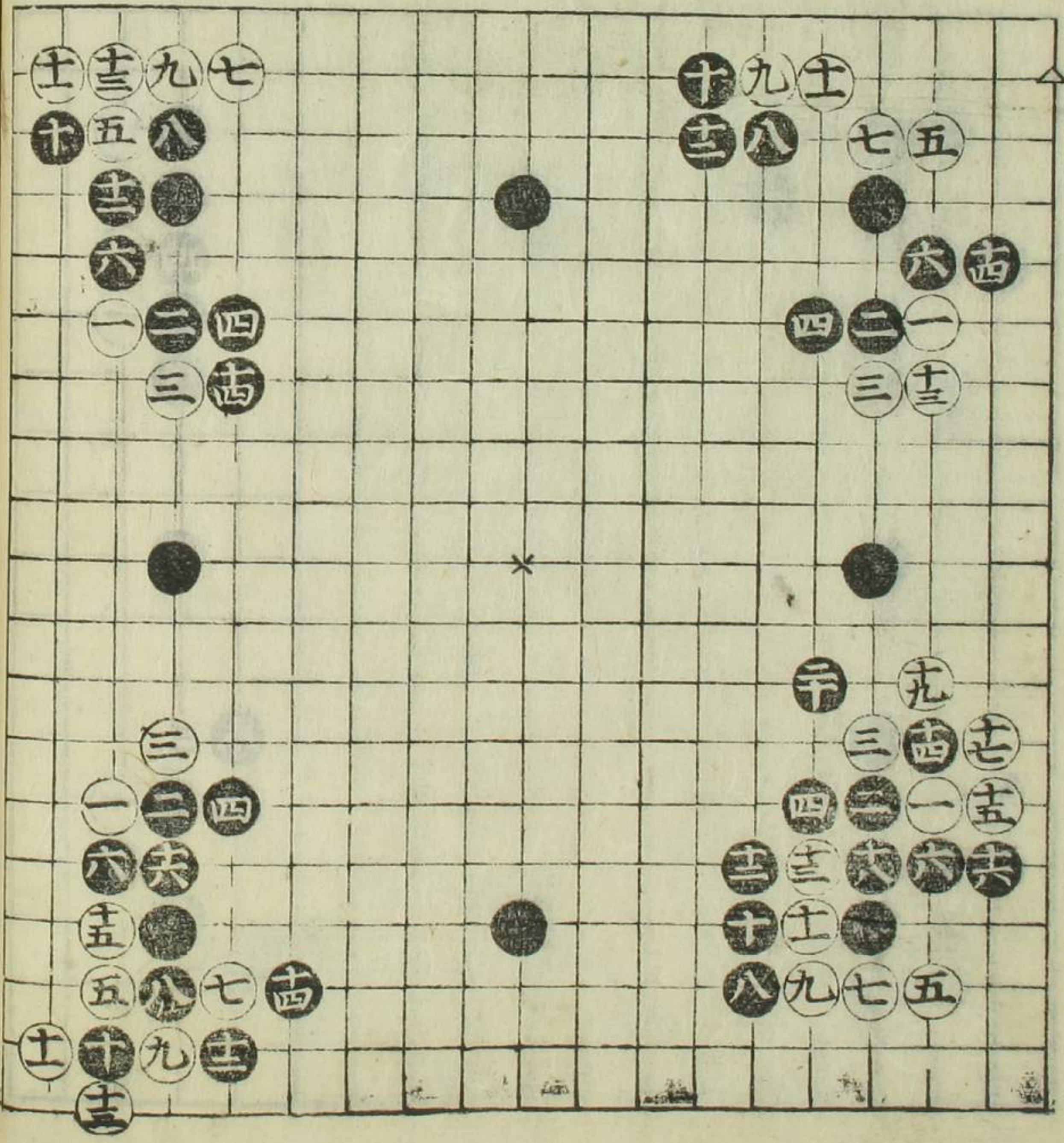
平去ノ二隅凡白ノ打
廿凡手ナレ凡一通リ
記之

上ノ隅黒九ヨシ

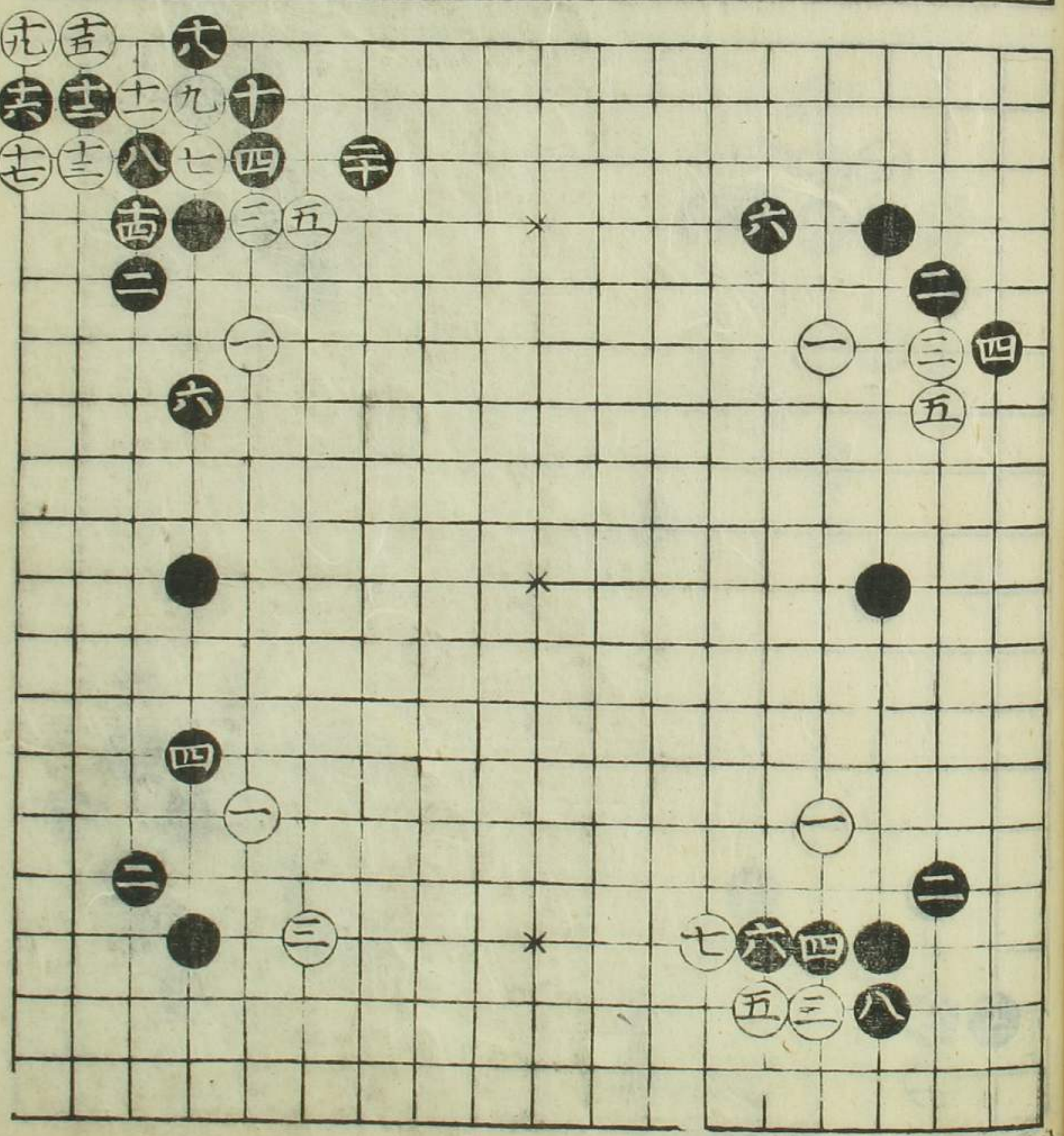


去白十三太ニアシ、如
此ニテハ△印エ打ハ
白死也

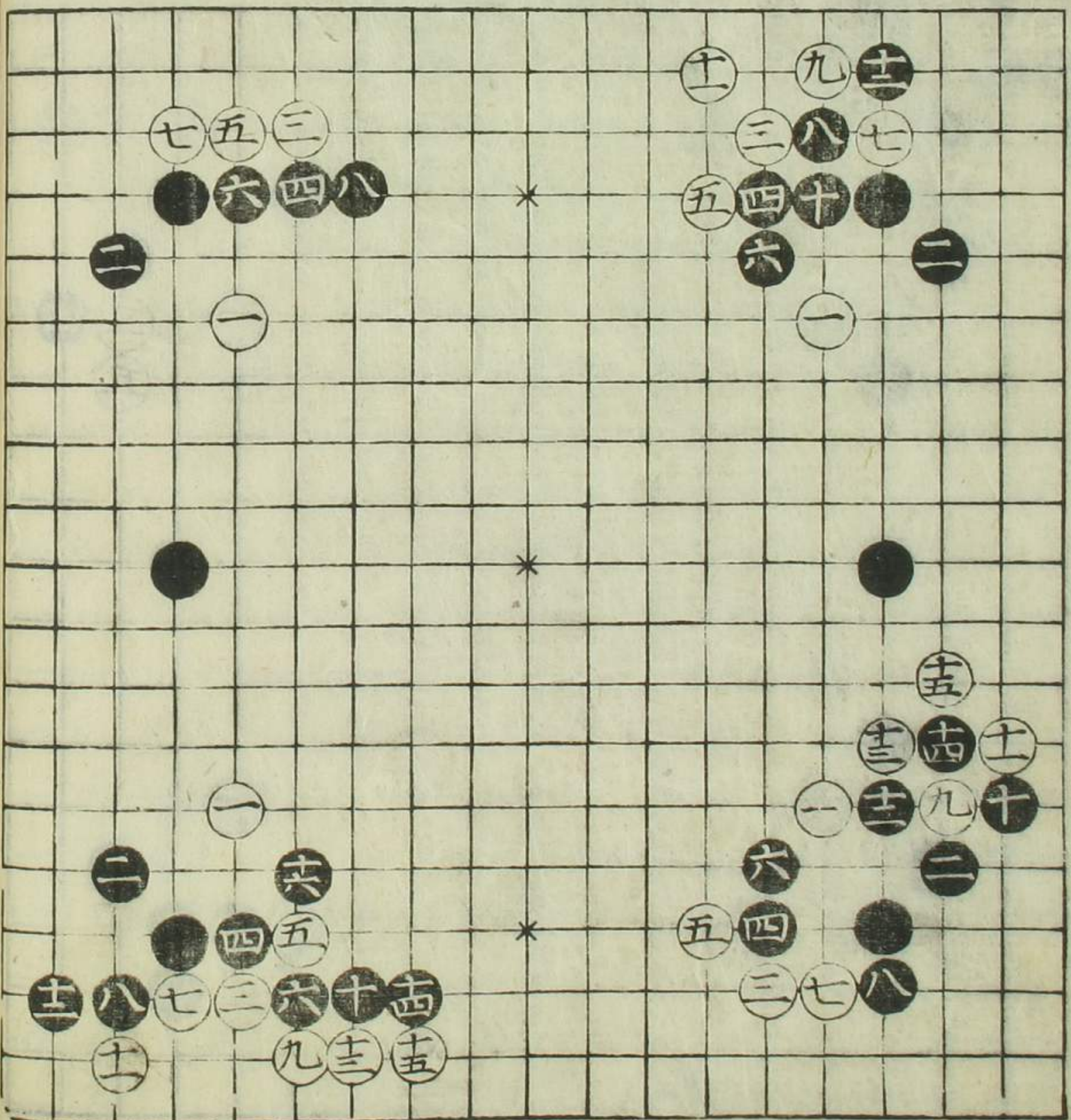
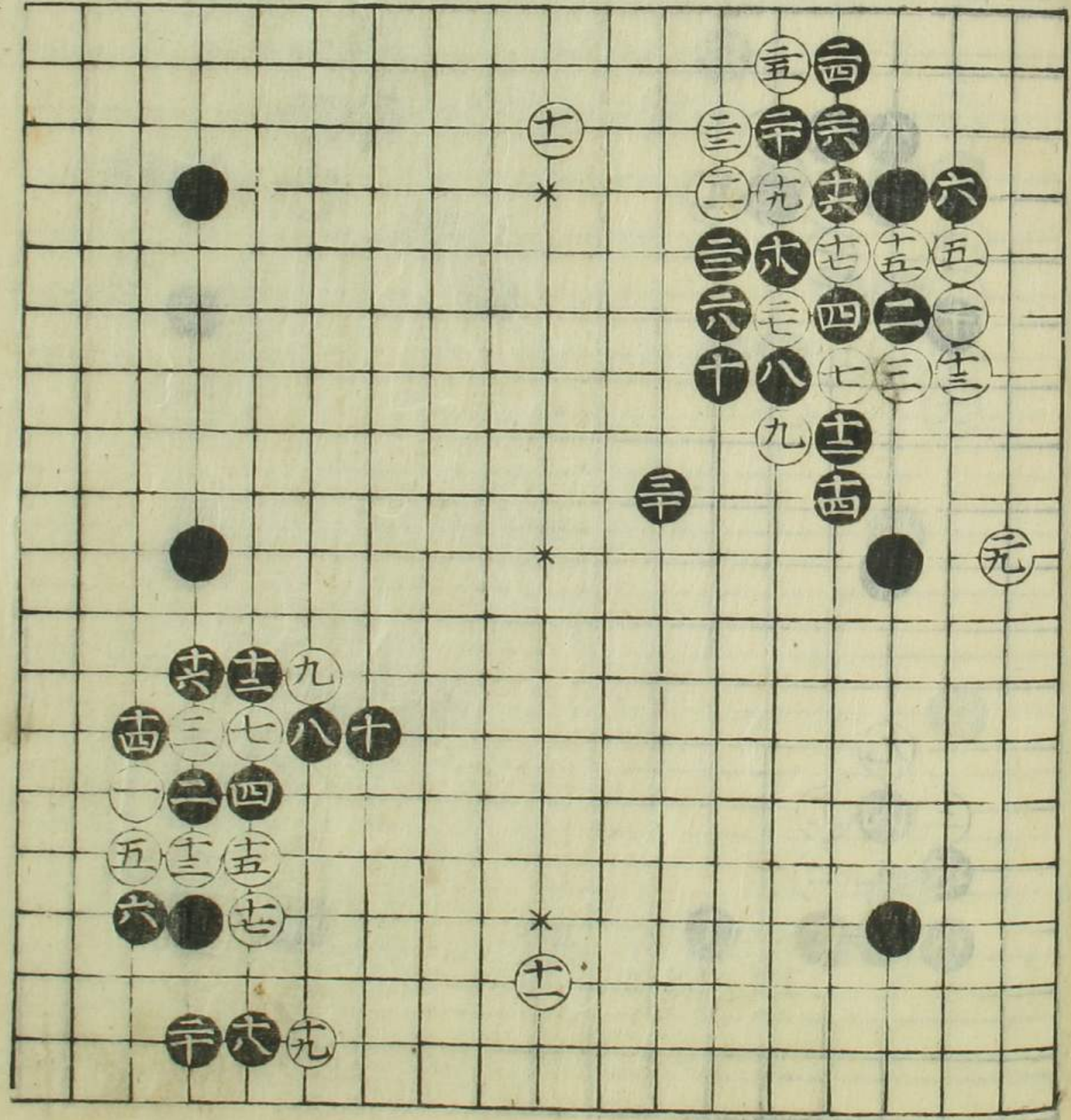
上白十一ノ手ヲ十三ノ
所エ打テモ矢張十
四ノ所エ可打



白一ノ手無法ト
可知

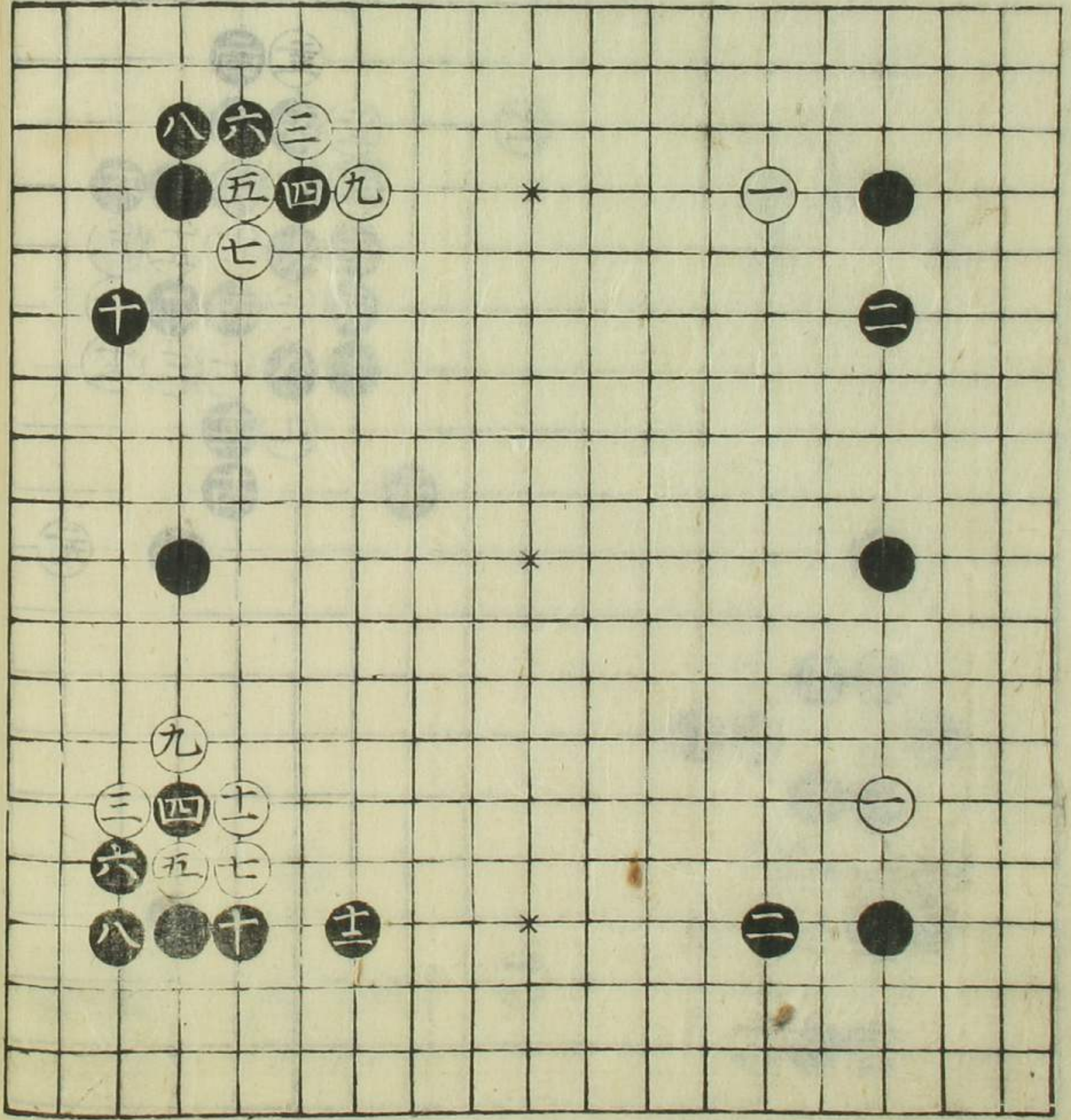
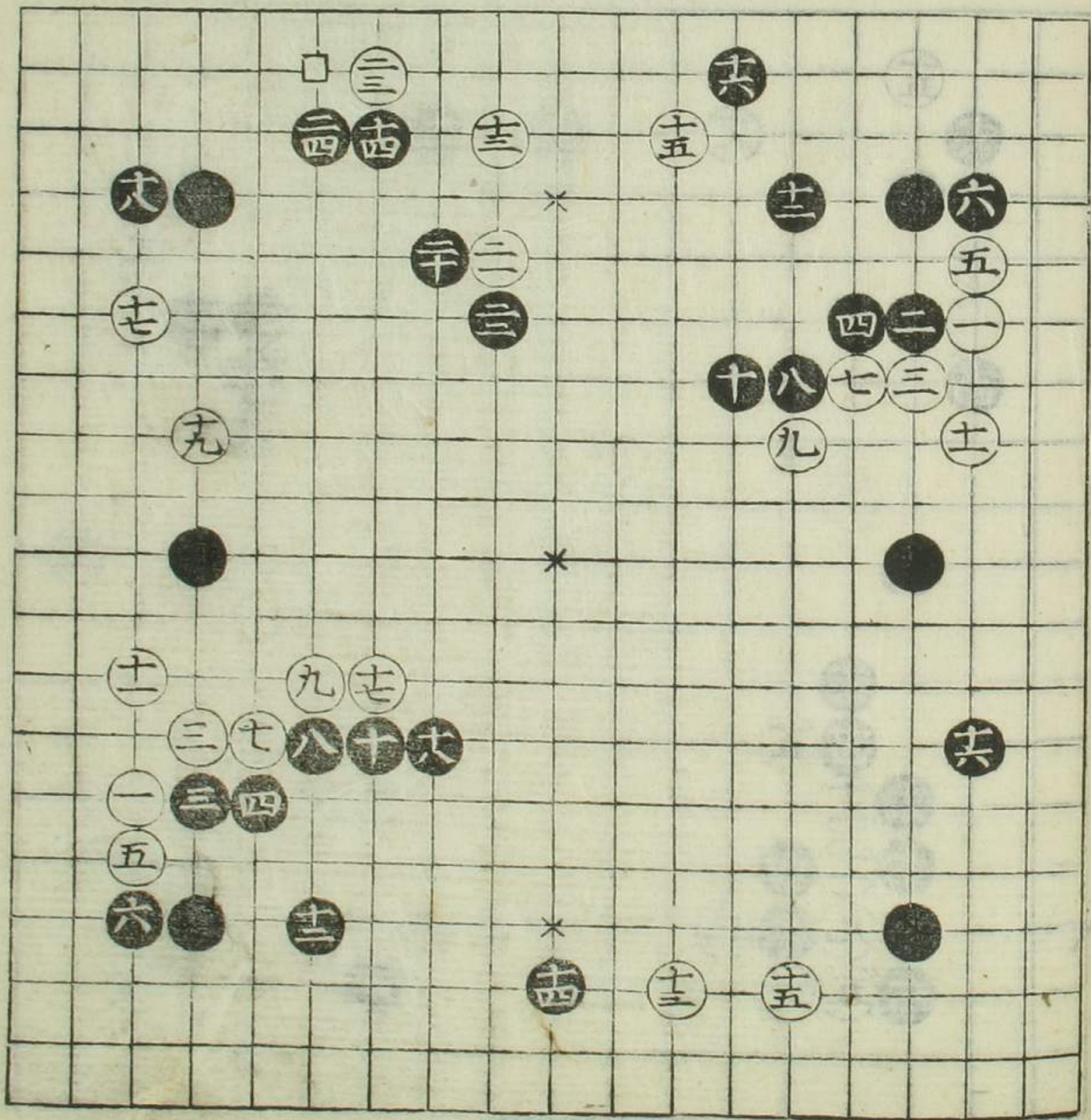


白十一ト打テ十二ノ
処ヲ捨置テハナク
レトモ是又至テノ
初學ニ示ノ三

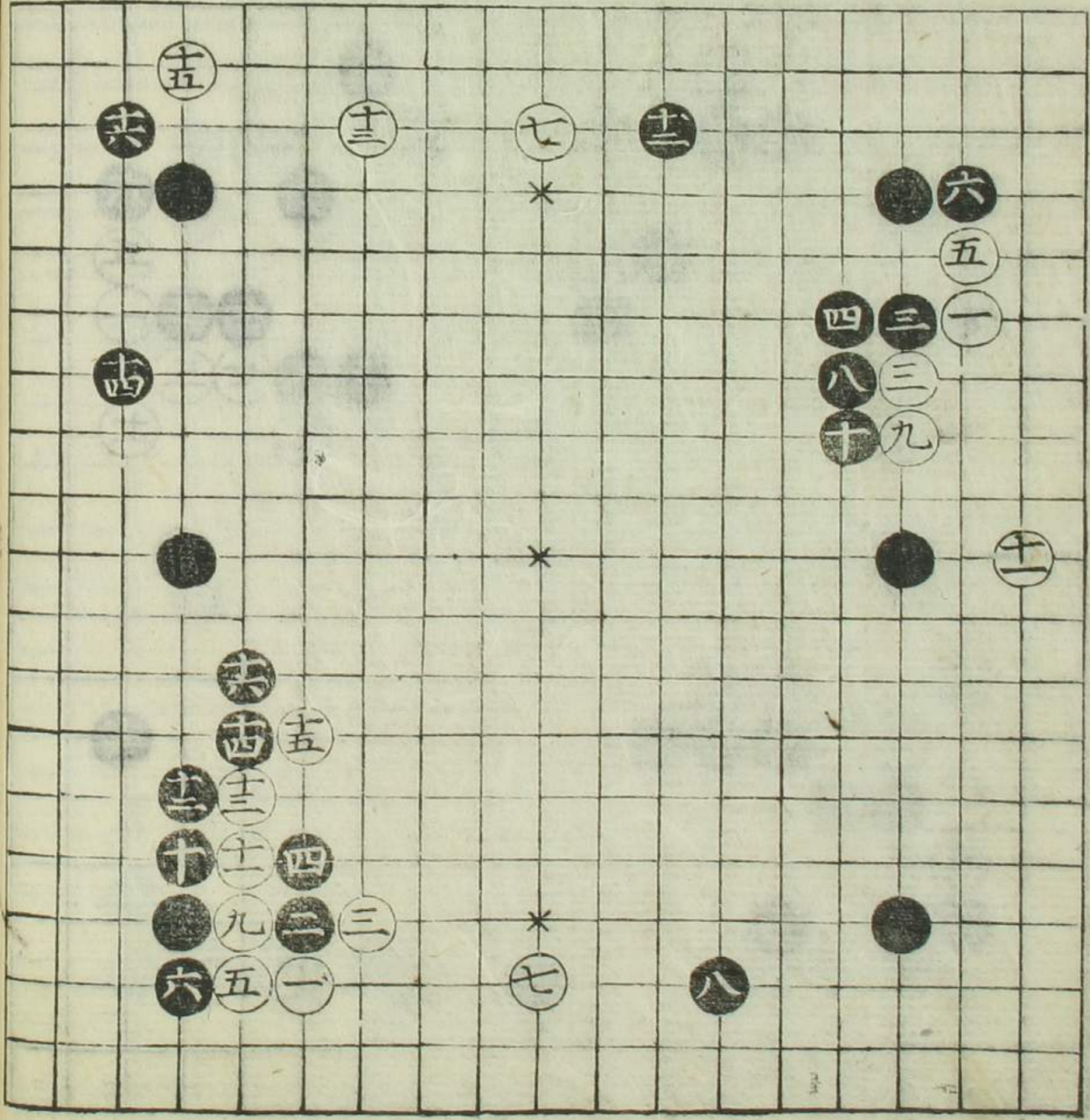


Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a title or chapter heading.

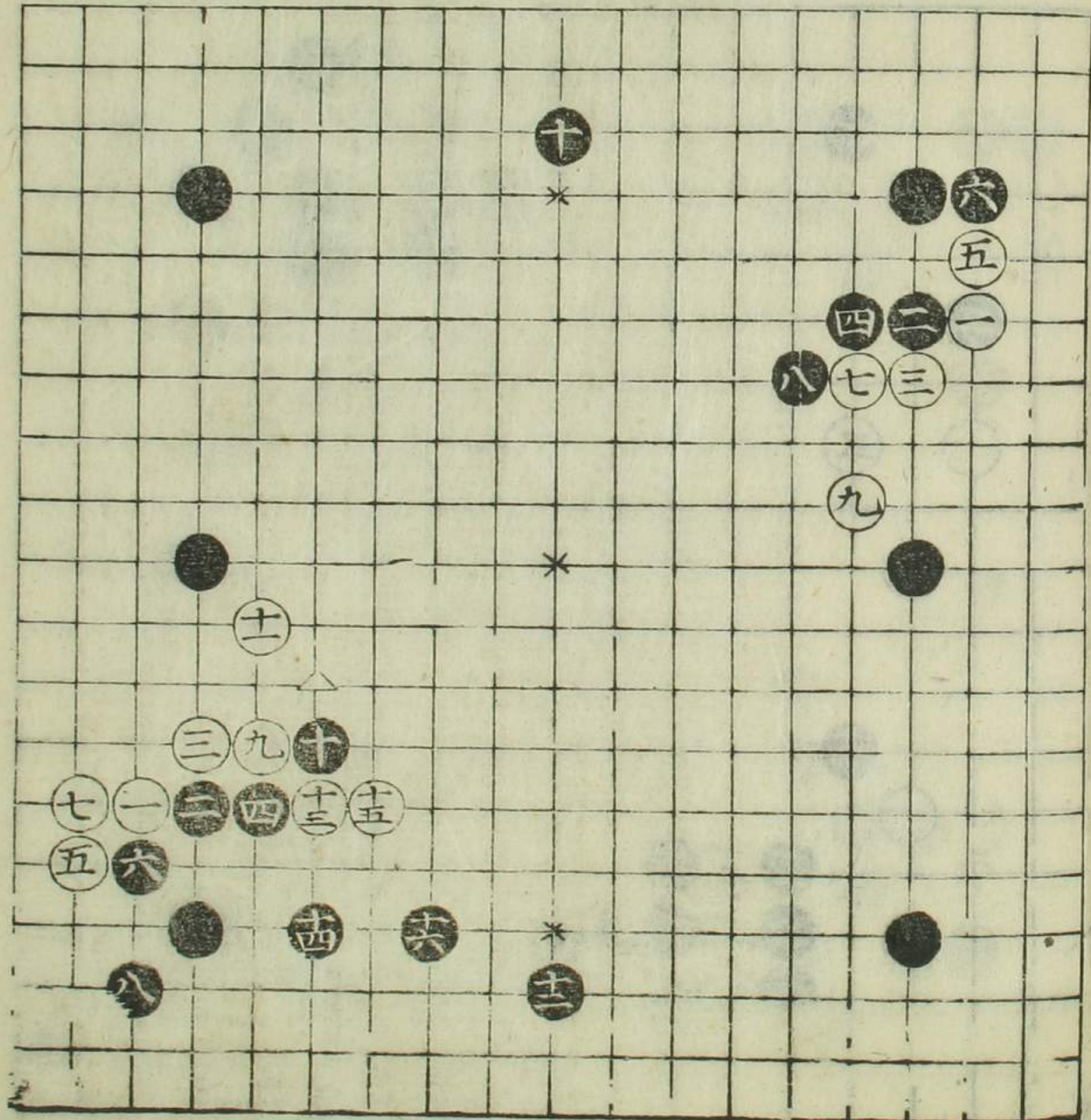
上隅黒二四ノ手ヲ
□印エ打バ白ヨリ
二四ノ所エ切ラレ
テ忽給レヲ生ジ初
進ノ人ハ大敗トナ
ル常ニ有形ナリ
能々可心得



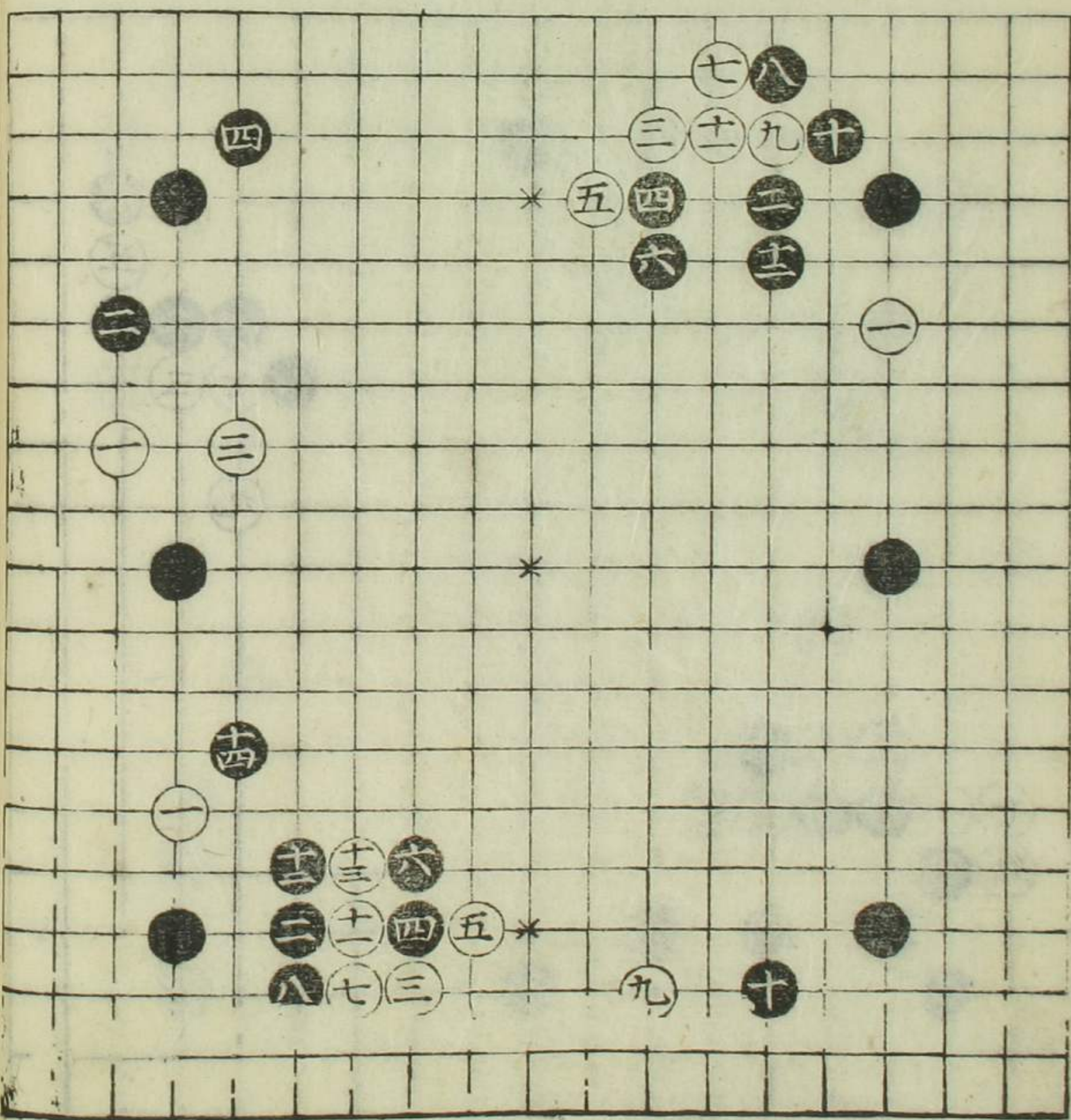
上隅黒八ト十ノ二
手五子以下ニテハ
決テ不打悪手ナリ
俛六子以上ニテハ
大ニヨシ
下隅ニト四ノ二目
ヲ捨ル心得大ニヨ
シ



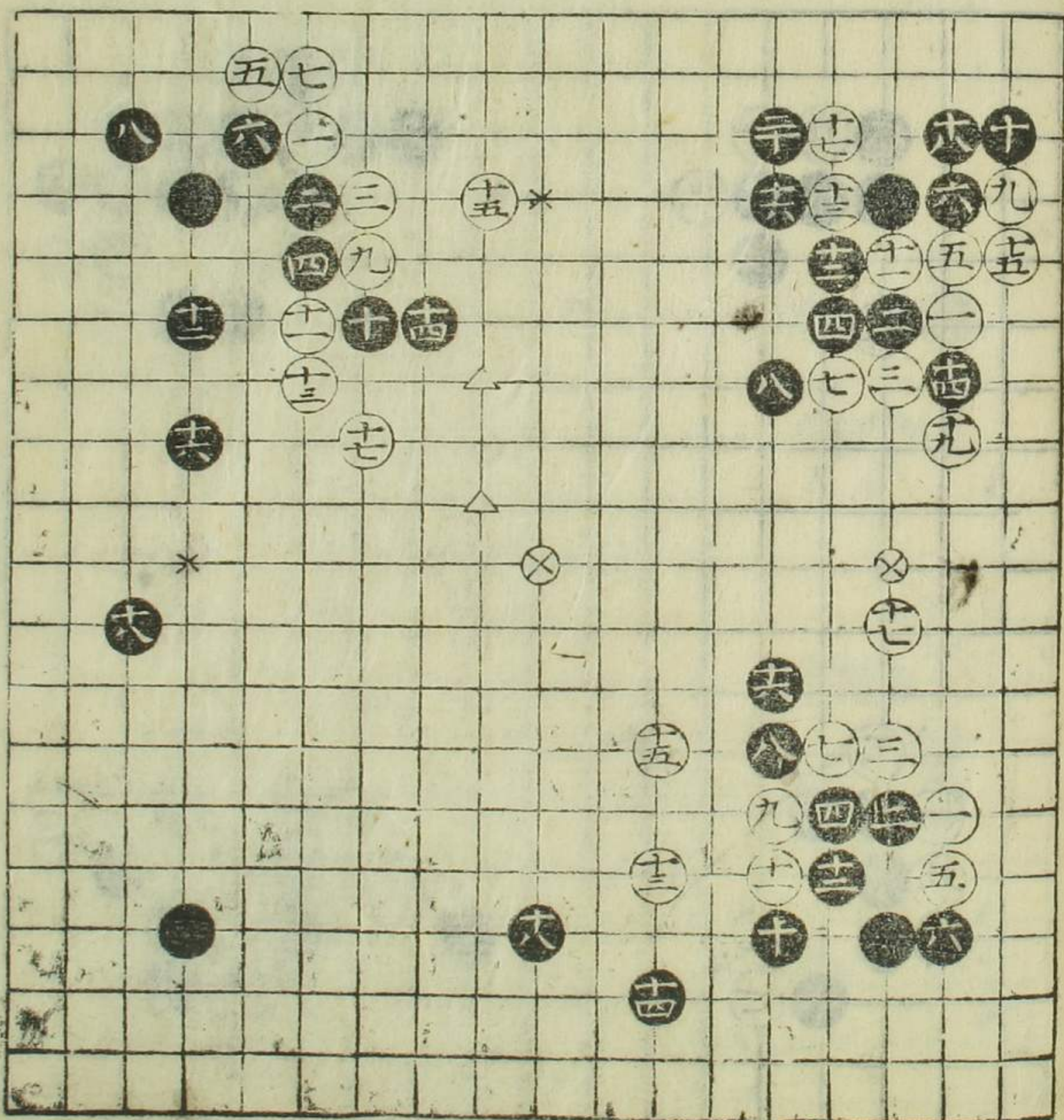
上隅十ノ手ハ服部
因淑新工夫大位ニ
シテ尤ヨシ
下隅白十一ノ飛ナ
キトキハ△印エ打
ヨシト可知



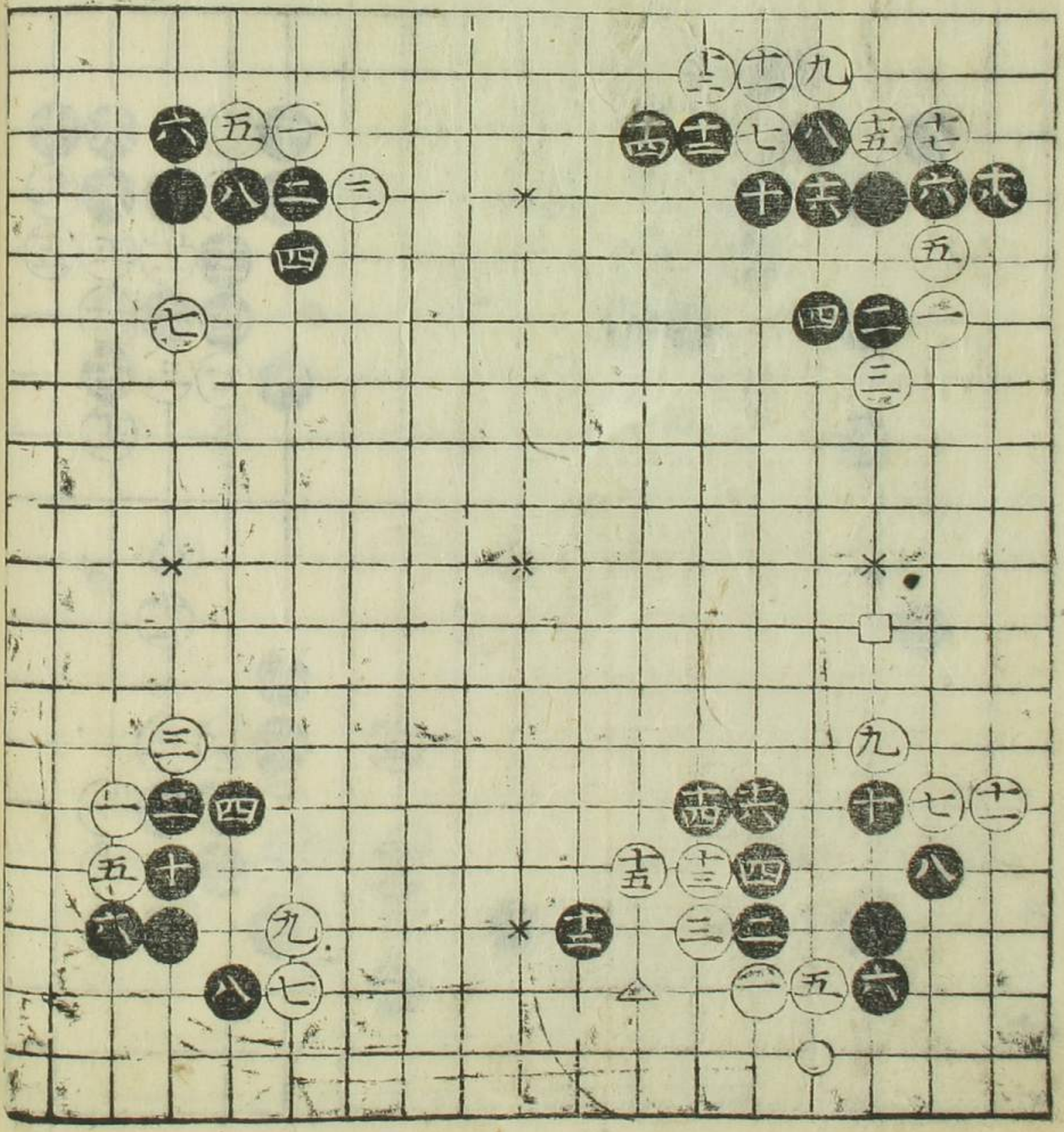
去之隅黒八ノ手ニ
テ白ノ十一ノ所エ
打モヨシ此形ハ至
テ堅ヲ專一トスル
ナリ
置テハ必可然



上
隅十ト十四ノ二月
ヲ捨テ不苦但五子
ノトキハ〇印ニ置
石アル故十八ノ手
ヲ△印エ尖テヨレ
去隅十六ノ手〇印
ニ置石アルトキハ
十七ノ所エ打テ上
ノ二月ヲ征ニ掛ル
ナリ一ツノ打方ヲ
二度記スハ愚ニ似
タレドモ四子ト六
子ノ違ヲ表スルミ

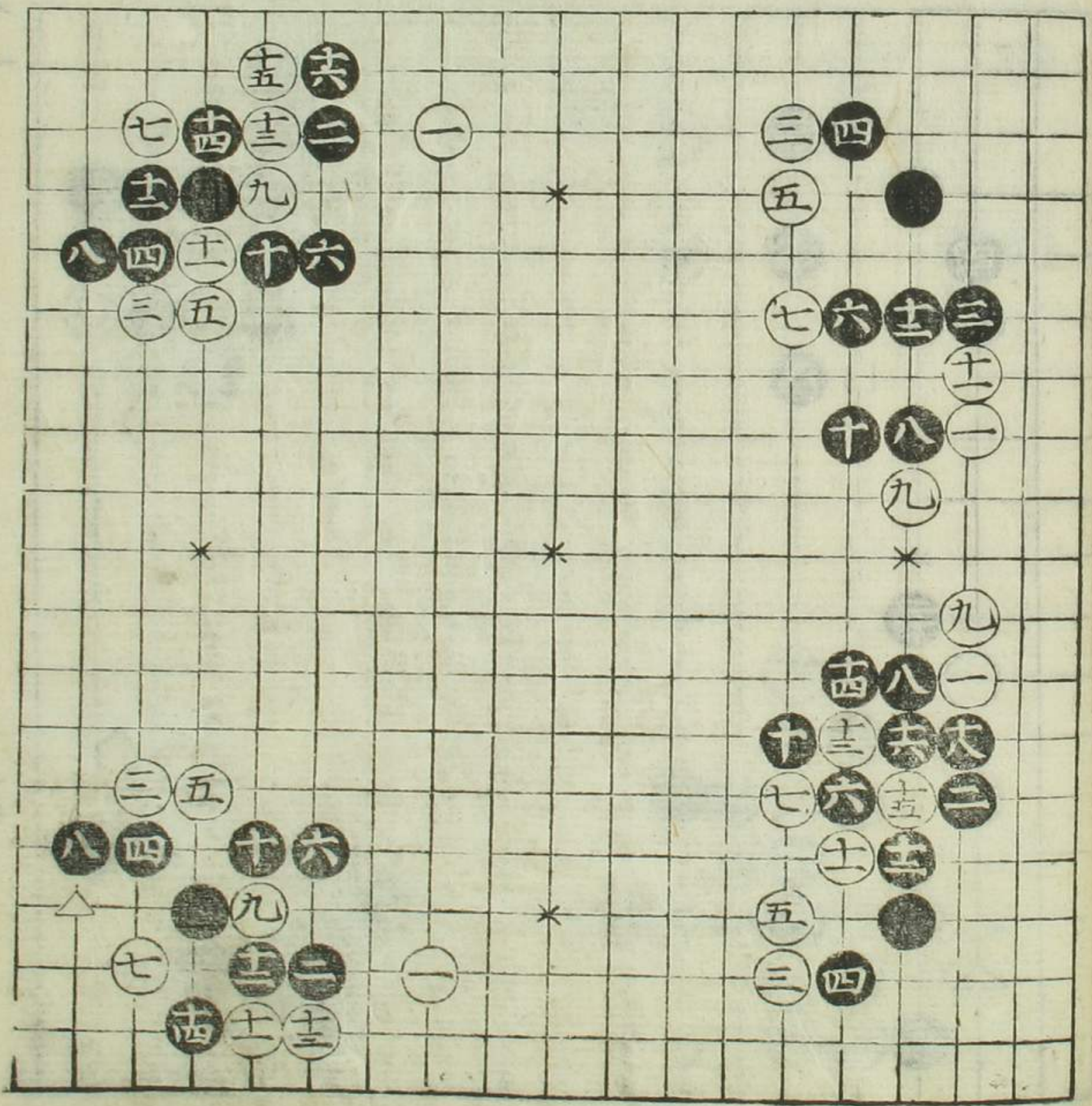


去 隅白九十一、二手無
 理ナリ黒十二大ニ
 ヲシ如是ニテ八十
 二分ノ勢也
 入 隅黒十六ヨシ此後
 白△印杯ニ打来ル
 トキハ黒□印之邊
 工打テ必シモ十二
 ノ一手ハ捨石様ニ
 心得テ間次第○印
 工一寸ハ子ルヲ輕
 クシテ能手ト可知
 初進深味セヨ



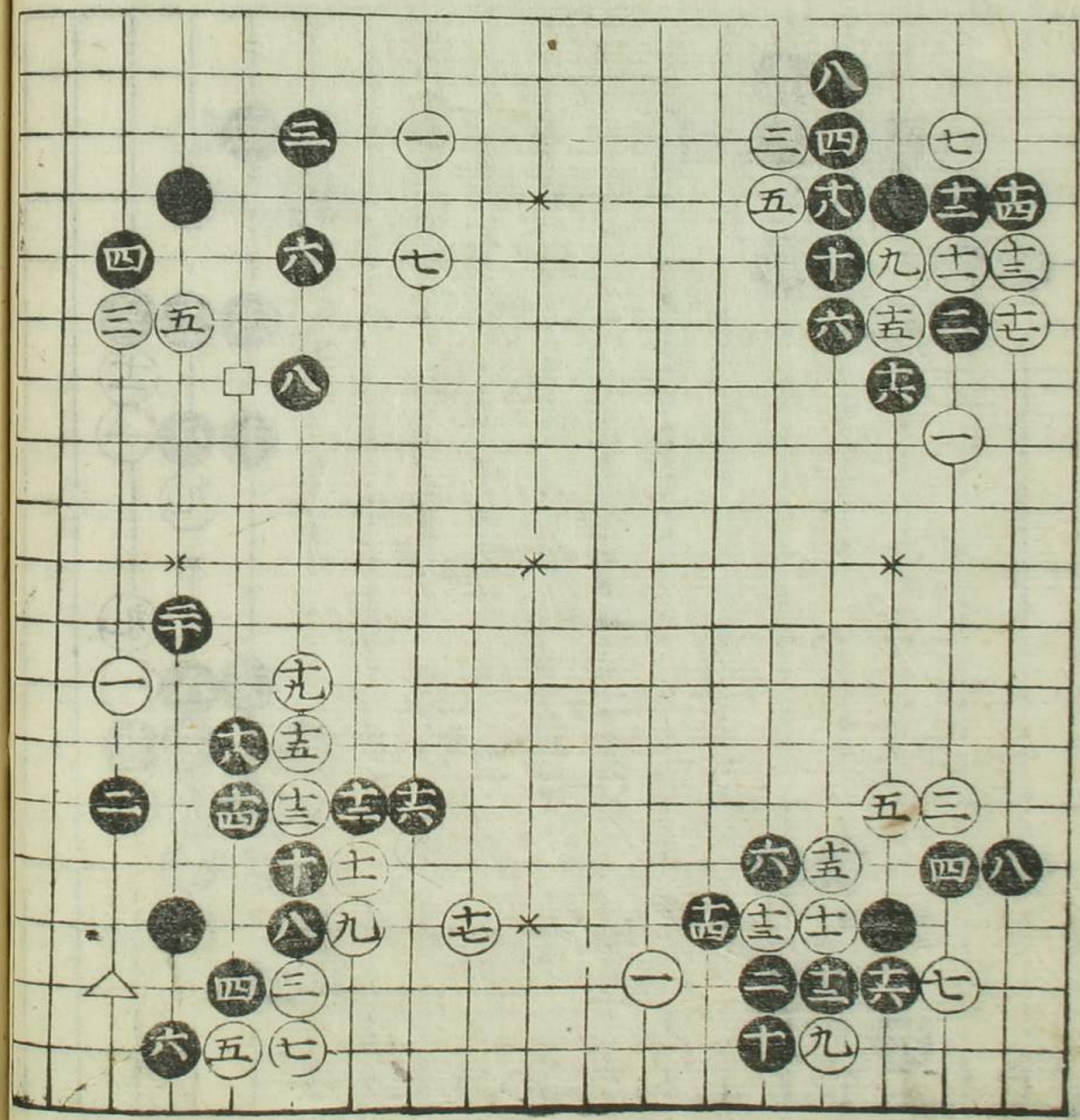
平上
 兩隅共黒八ノ手多
 ハ△印工打方ヨ
 ケレトモ全ノ初發
 ニ七ト打来ルトキハ
 如是打テヨシ
 去入
 兩隅共黒八ノ手ハ
 少シモ絲ナクシテ
 ヲキ請方ト可知

入
 ⑤ 二目結

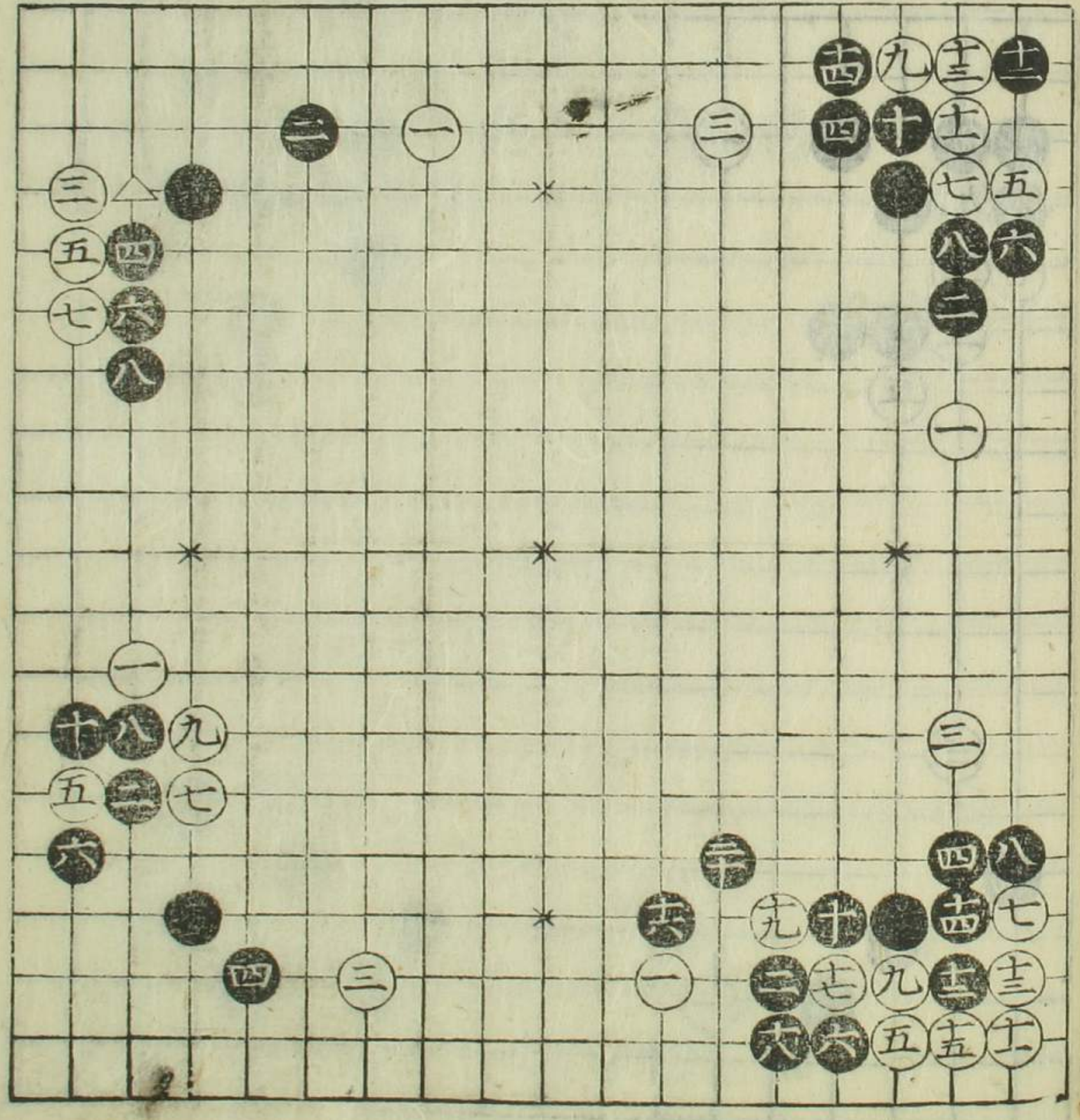


平 隅黒六ノ手一ト二ノ
二手無之時ハ八ノ
処工打白七ノ所ヨ
粘其トキ△印工可
尖二ノ小斜走故如
是打テヨシ

上 隅八ノ手□印工打
テモヨシ
兩隅共黒黻キ徳也

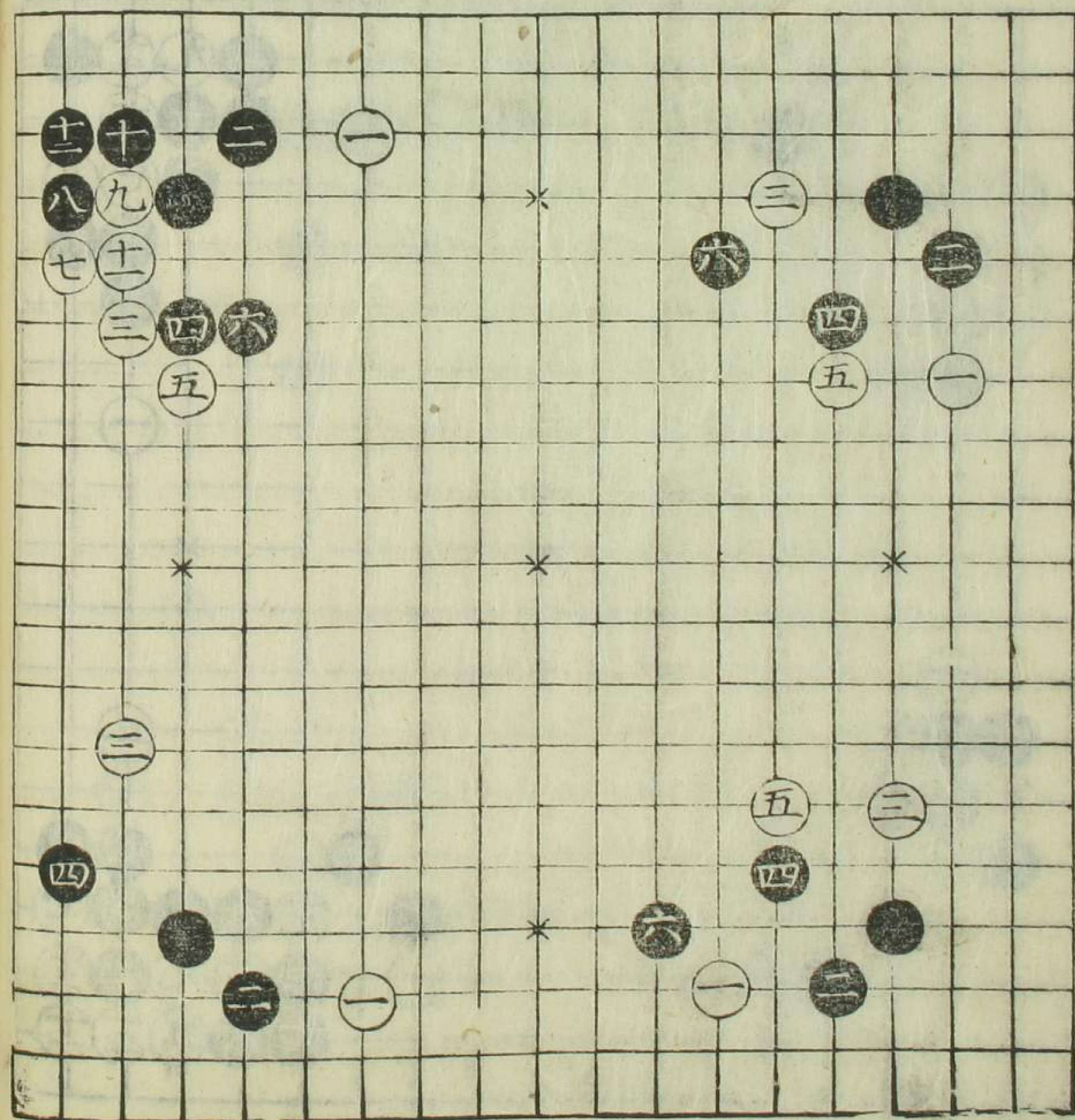


平 白五ノ所甚早ケレ
ドモ唯黒ノ請方ヲ
記而已
上 黒四ノ手昔ヨリ△
印工打來トモ余惟
ニ如是方無紛シテ
可然
去入
黒大ニヨシ

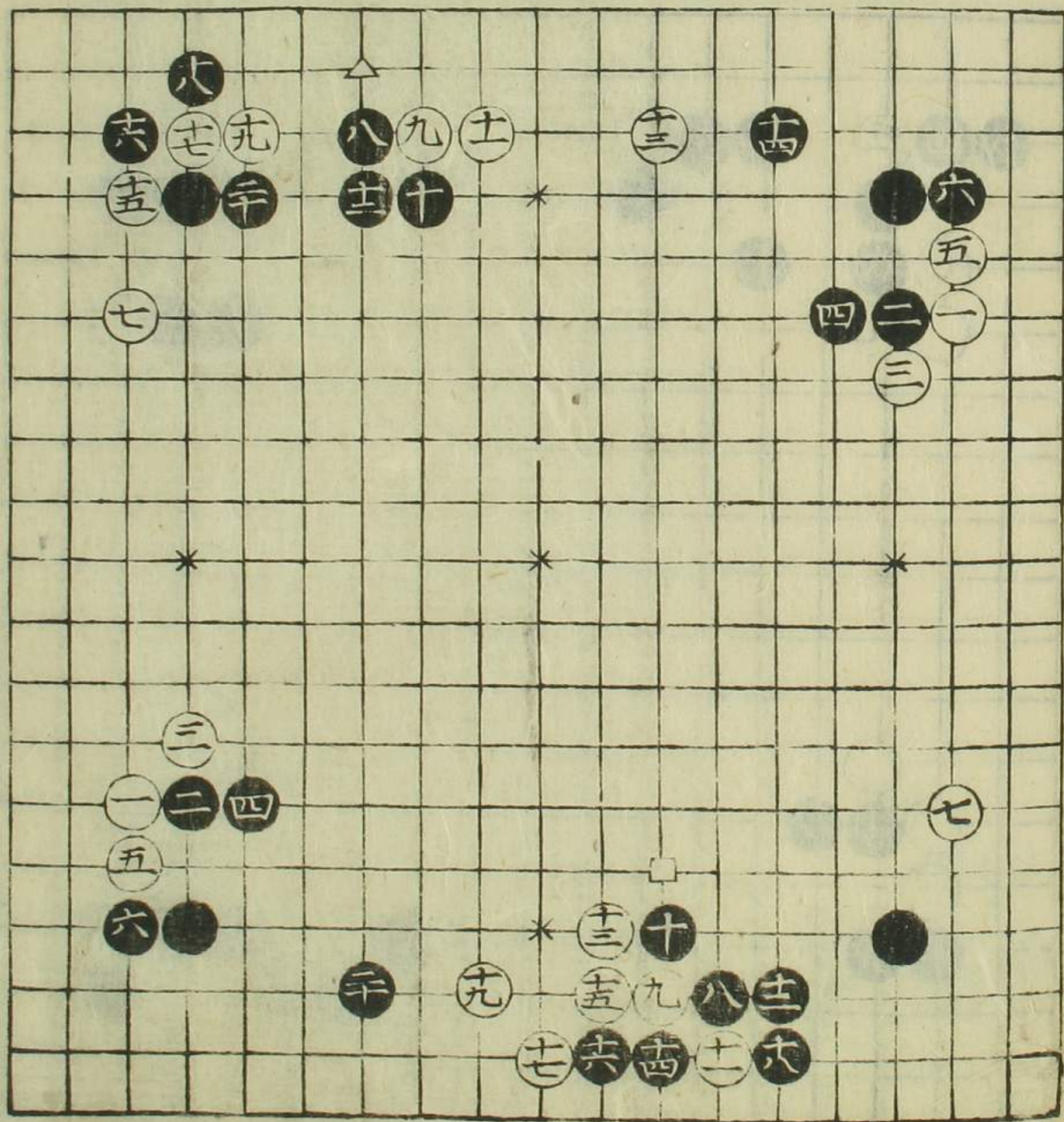


妙傳 卷一

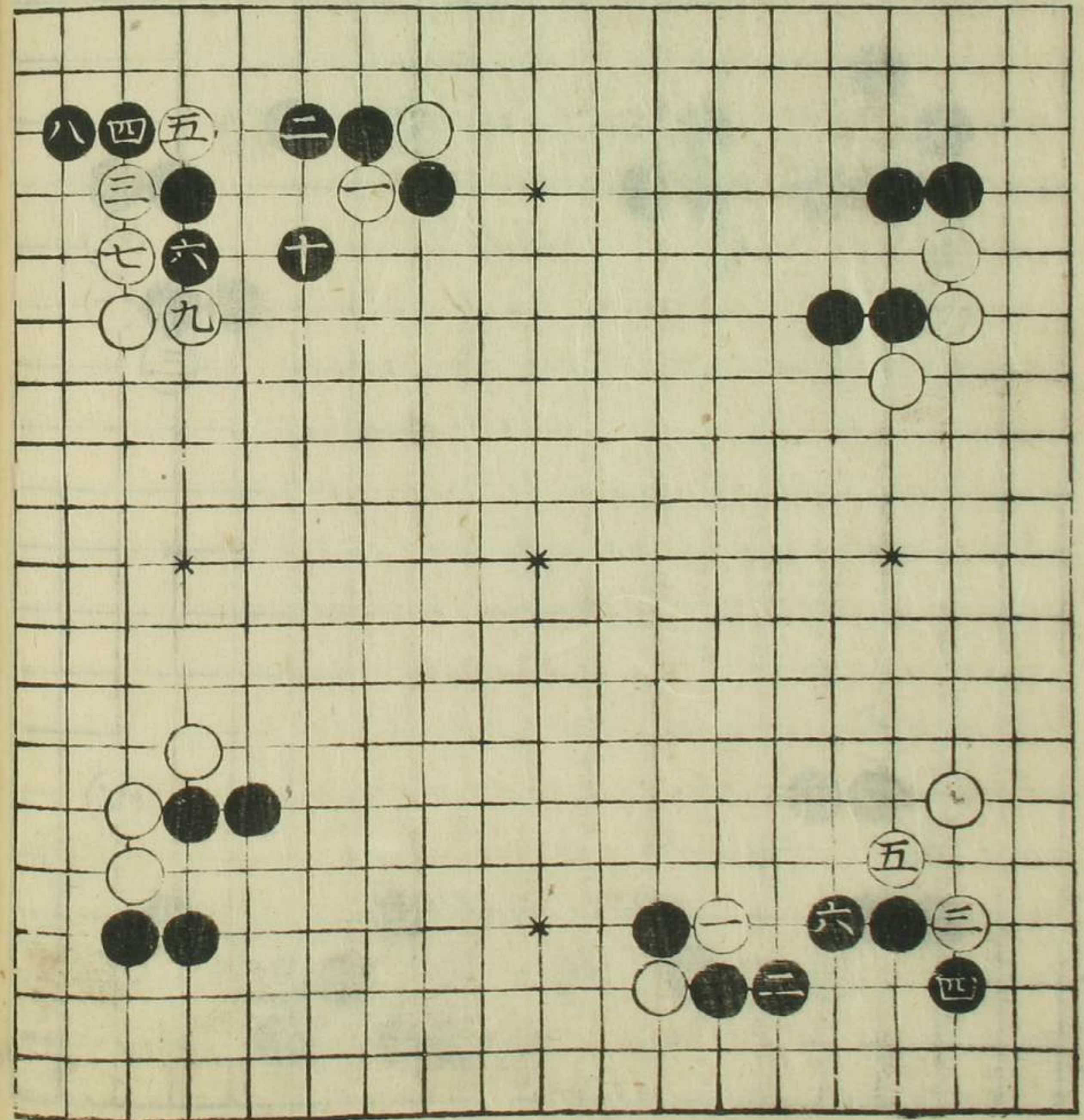
上
八ノ手ニ石有ト
キハヨレニ石ナキト
キハ矢張十一ノ処エ
可打
残三隅ハ尤常法
ナリ



上隅黒十二ノ手昔
ヨリ△印エ打来レ
ドモ如是粘方堅シ
テ可然
下隅黒十四ノ手昔
ヨリ□印エ打来レ
ドモ余考ルニ此方
輕ク徳ニシテ可然
歟

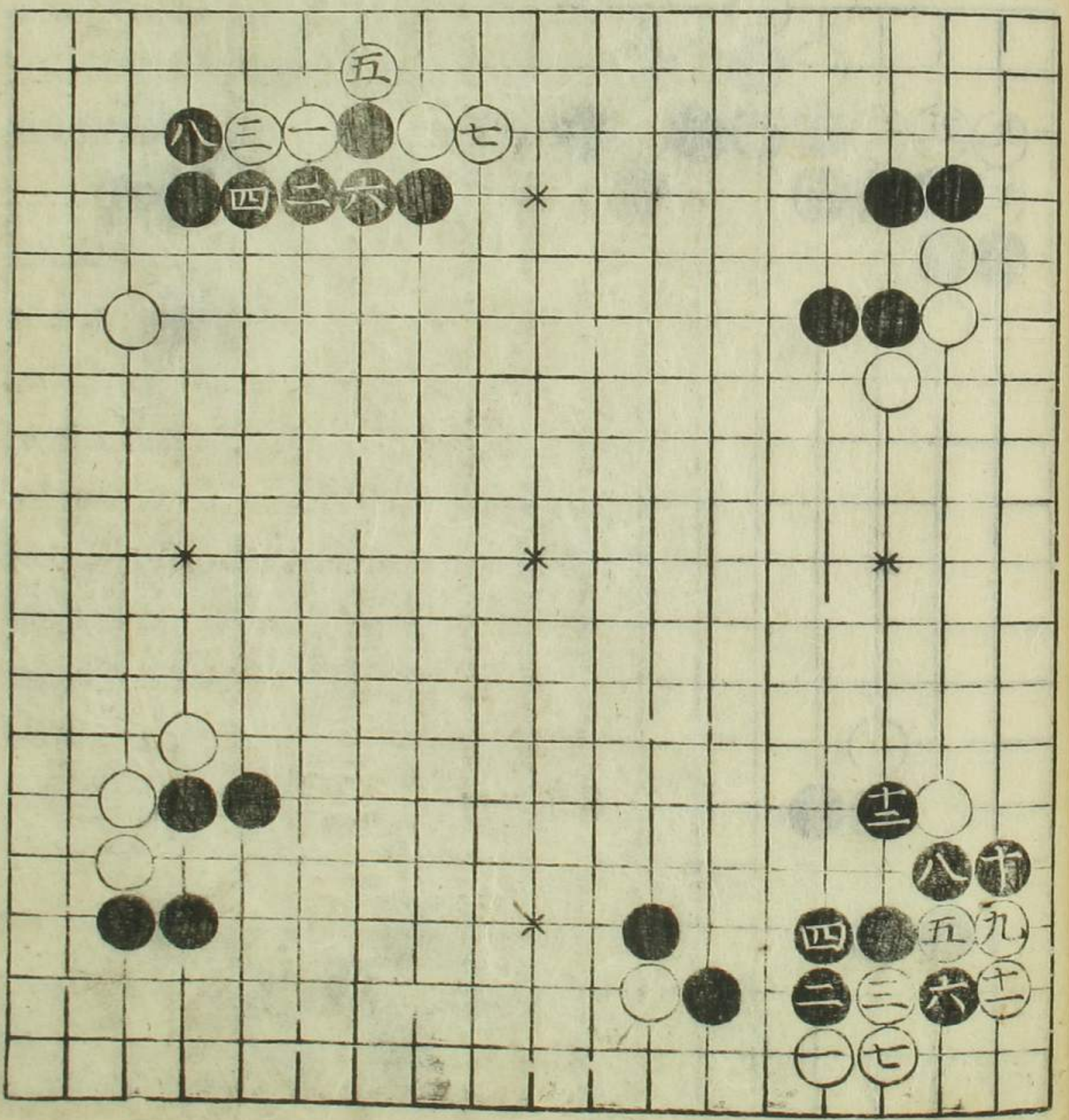


中古ヨリ尋常ノ
打方ナリ

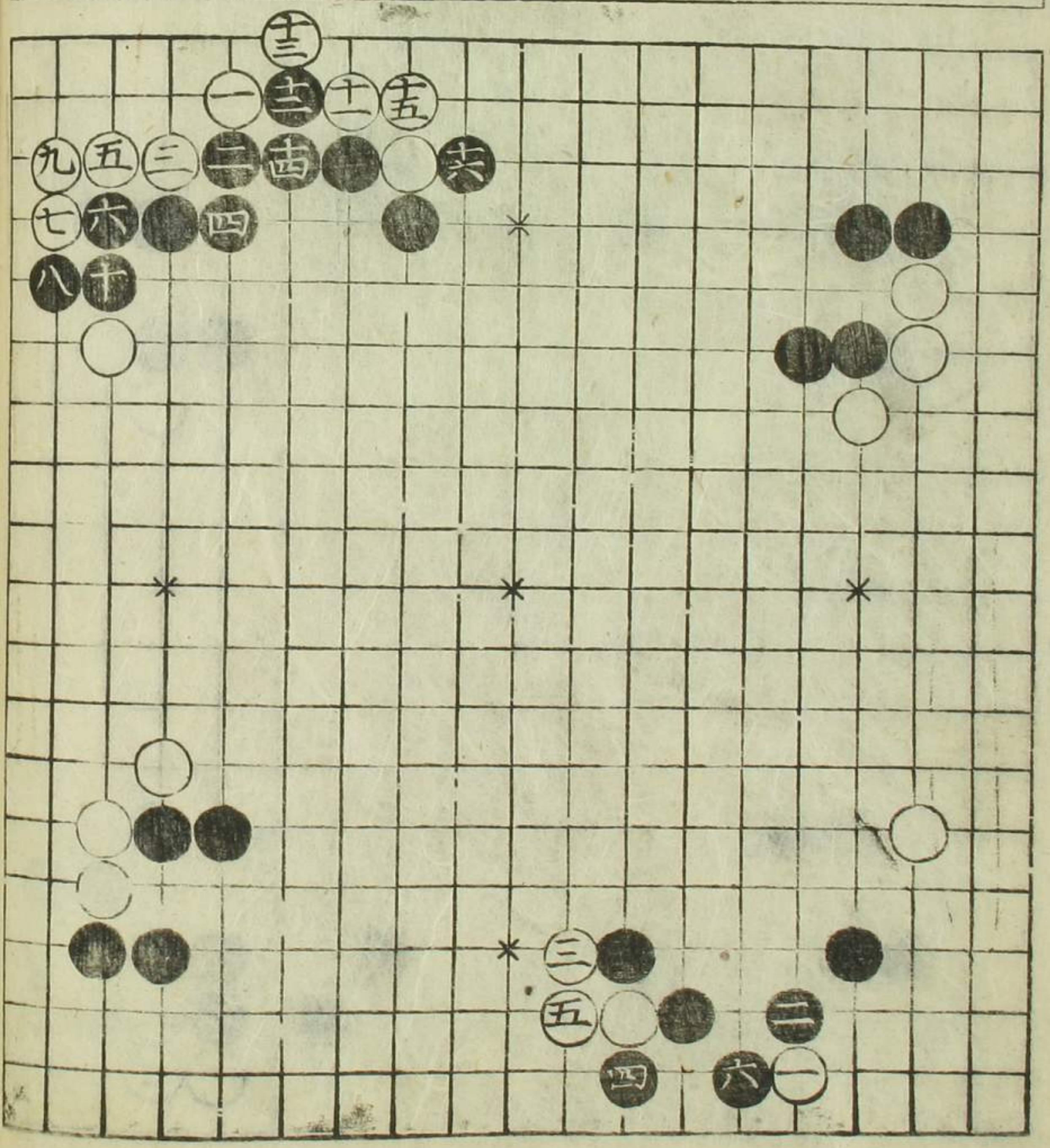


上
白ノ石ヲ盤シテ
如是打心得尤ヨシ

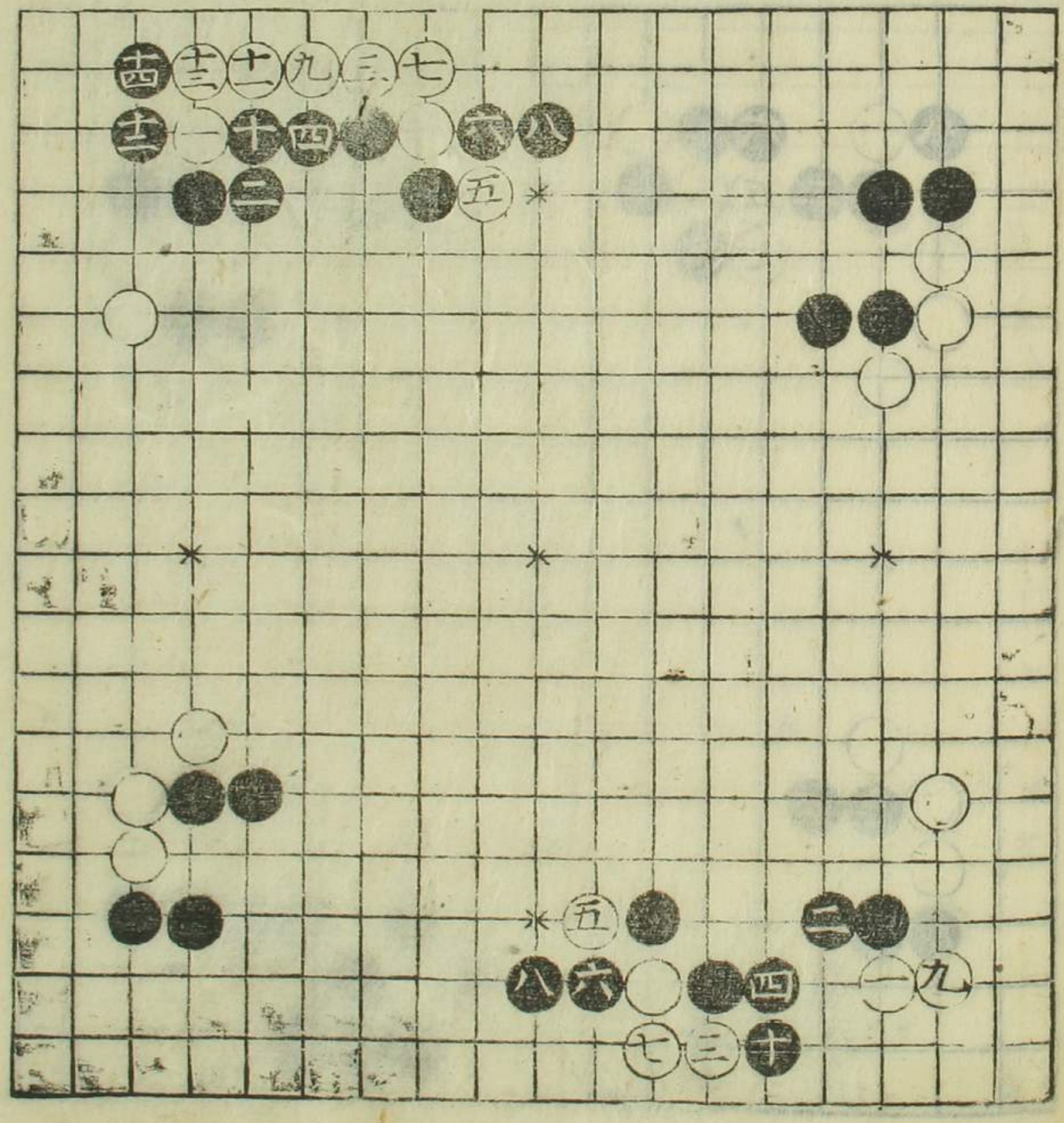
入
隅ニト打四ト粘テ
少モ上手ニサカラ
ハズ打心得大ニヨ
シ隅エ打込来ルト
キ活スヲ可悦一手
モ取度ト云一念起
ルトキハ必々大敗之
基ト可知



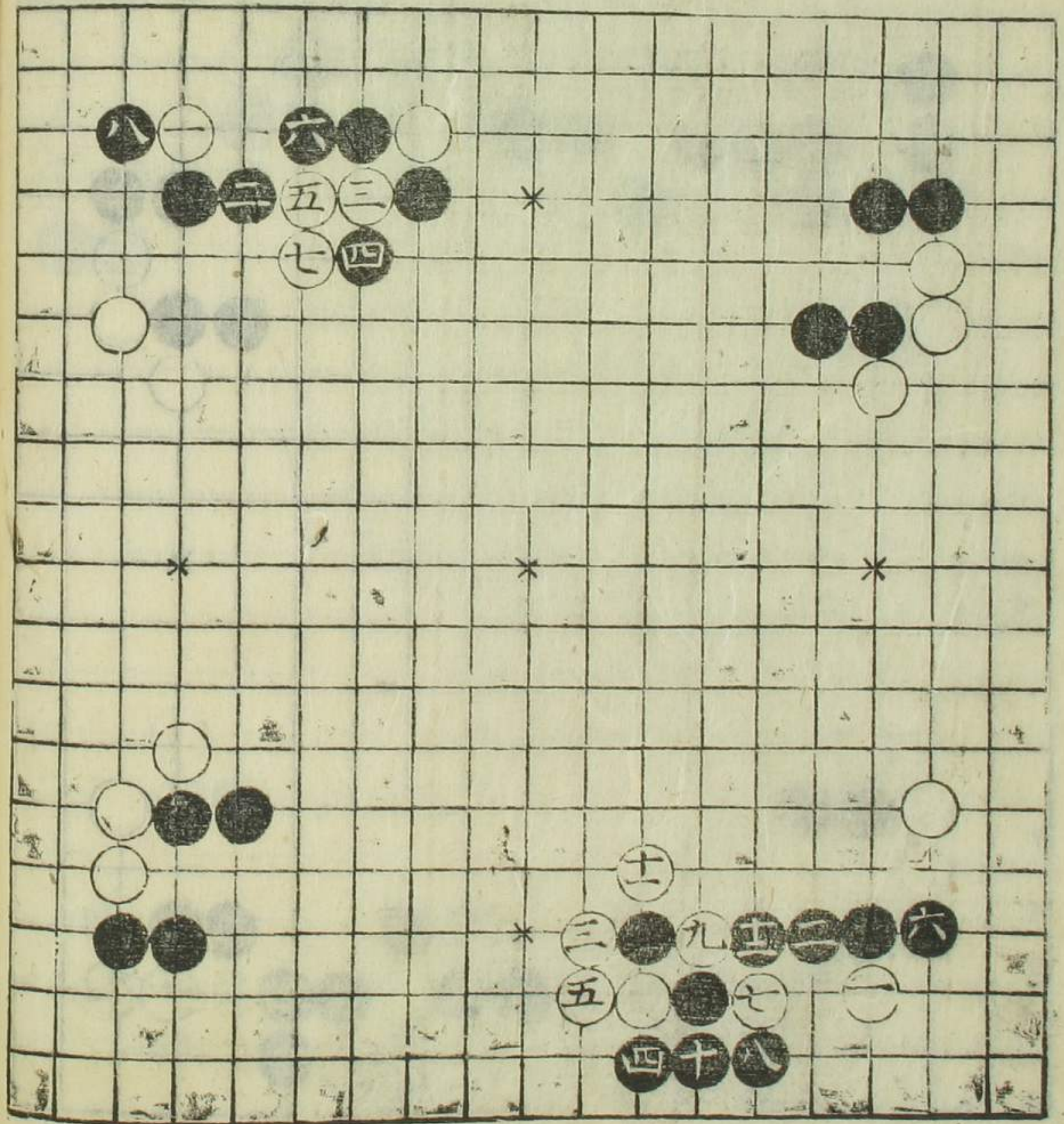
兩隅黒尤ヨシ就中
入ノ方四ト六ノ二
手輕シテ大ニヨシ



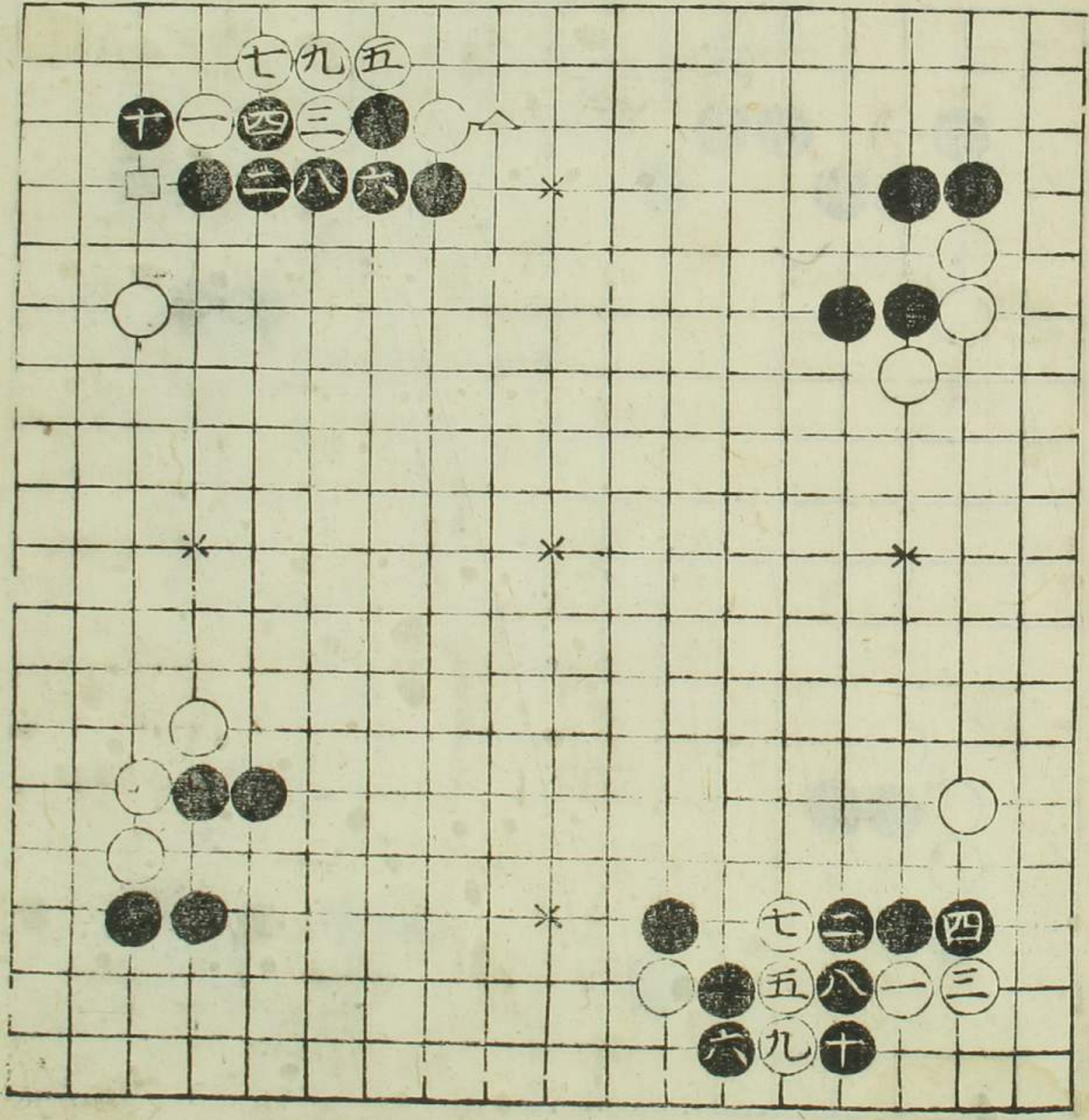
兩隅共白甚無理ナ
ッ



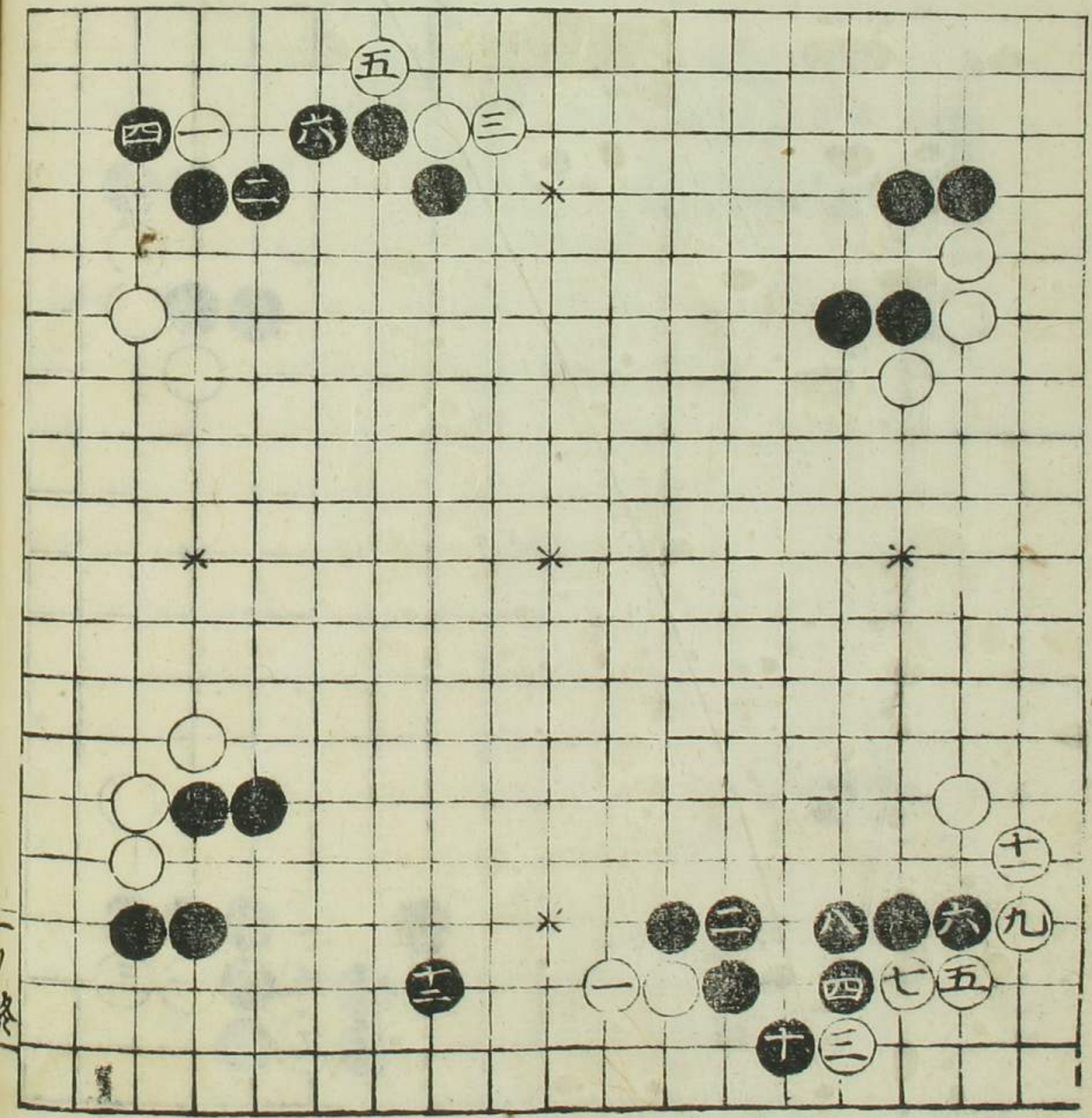
上
隅黒大ニヨシ
入
隅四ト六ノ打方余
新工夫徳、上無紛
シテ可然歟



上
黒十ノ手△印エ打
白十ノ処エ打黒口
印エ打テモ堅クシテ
ヨシ
下、
六ト下スレテセノ
処エ折ハ則上ノ如
評ナルナリ何レニテ
モ不苦



黒四ノ手ヲ五ノ所ニ
打ハ古風ニナリ
何レモ不苦



女
作
者

十
六

